

明治何年度何々(款)

---

歳入確定額計算書

凡例

- 一 計算書ヲ受授スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
- 二 計算書ノ用紙ハ厚質膠沙引美濃紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明クヘシ
- 三 計算書ハ改竄塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横斷シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

名

---

廳

◎收入證明規程 明治三十三年五月二十九日  
會計検査院達第二號

收入證明規程左ノ通定ム

收入證明規程

- 第一條 會計規則又ハ各特別會計規則ニ依リ收入官吏ノ調製スヘキ收入計算書ハ別記書式ニ據ルヘシ
- 第二條 身元保證金ヲ納メタル分任收入官吏交替ノトキハ特ニ其收入計算書ヲ調製シ證明ヲ爲スコトヲ得但此場合ニ在リテハ主任收入官吏ヲ經由スヘシ
- 第三條 左ノ事項ハ收入計算書ノ備考ニ記載スヘシ
  - 一 缺損補填ヲ受ケタルモノアルトキハ其金額事由
  - 二 會計規則第八十八條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其金額事由
  - 三 金庫ニ拂込未済又ハ債主其他ニ拂渡未済ニ係ルモノアルトキハ其金額事由
  - 四 右金額ニシテ後任官吏ニ引繼キタルモノアルトキハ其事由
- 第四條 收入計算書ニハ會計規則第九十三條ニ依レル檢定書ヲ添付スヘシ
- 第五條 證憑トシテ提出スヘキ書類左ノ如シ
  - 一 金庫ニ拂込ミタルモノ後任官吏ニ引繼キタルモノ又ハ債主其他ニ拂渡シタルモノハ各其領收證書
  - 二 金庫ニ寄托シタルモノ又ハ供託シタルモノハ當該上官又ハ金庫ノ保證書
- 第六條 證憑書類ハ所屬年度ニ區分編纂シ其金額紙數ヲ表紙ニ記載スヘシ
- 第七條 下検査ヲ執行スル官吏ニ於テ收入計算書及證憑書類ヲ受ケタルトキハ十五日以内ニ下檢

查ヲ執行シ之ヲ提出スヘシ

第八條 下検査書ハ收入計算書毎ニ調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ

一 收入計算書ト現金出納簿トノ符合及殘額現存ノ保證

二 事實ニ適合セスト認定シタル事項ノ金額事由

第九條 審理書及答辨書ハ下検査ヲ執行スル官吏ヲ經由スヘシ

附則

第十條 本規程ハ明治三十三年度分ヨリ施行ス從前ノ各收入證明規程ハ明治三十二年分限リ廢止ス

○收入證明規程ニ關スル件

神奈川縣照會 (明治三十四年五月二十三日)

收入證明規程第四條ニ依リ收入計算書ニ添付スヘキ検査書ハ主任ハ勿論分任收入官吏ノ分ヲモ包含スヘキカ如キモ主任收入官吏交替等ノトキハ單ニ主任收入官吏直接出納ニ係ル検査書ニ止ルカタメ分任收入官吏ノ検査書ハ添付ノ途ナシ又定時検査ノ際ニ於テモ分任收入官吏検査書ハ兼職ニ係ル歳入歳出外現金出納額等ヲ合算掲記セルタメ收入計算書受拂額ト符合セサルニ因リ主任收入官吏直接取扱ニ係ル検査書ノミ添付スヘキヤ  
會計検査院回答 (同年七月九日)  
收入證明規程第四條ニ依リ收入計算書ニ添付スヘキ検査書ハ主任收入官吏交替ノトキハ單ニ主任收入官吏ノ検査書又定時検査ノ際ハ主任及各分任收入官吏ノ検査書ヲ添付スヘシ但シ收入官吏ノ兼職ニ係ル歳入歳出外現金等ヲ併算シアルトキハ各検査書ニ仕附書ヲ添付スヘシ

(別記)

書式

明治何年度

收入計算書

一 計算書ヲ受授スル者ハ其年月日ヲ表紙ニ記載スヘシ  
一 計算書ノ用紙ハ膠沙引厚質美濃紙ニツ折テ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ存スヘシ  
一 計算書ハ改竄塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ爲シタルトキハ二線ヲ横斷シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

証憑書 何冊

何々

名 廳

出納 (擔保品, 收容貨物, 無請求品賣却代金出納)

出納	拂		山		何々	計	拂出未済額	備考
	入付	二額	債主	其他				
歳納	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭
	0		0		0		0	
	0		0		0		0	
	0		0		0		0	
							0	
							0	
							0	

○國稅徵收法又ハ臺灣租稅滯納處分規則ニ依リ滯納處分ヲ爲シタル現金若シクハ關稅法又ハ保稅倉庫法ニ依リ擔保品貨物等ノ賣却ヲ爲シタル現金ヲ出納シタルモノハ本欄ヲ付スヘシ

摘要	前年度拂出未済額		本年度領收済額		計		拂込済額		拂込未済額		備考
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
租 稅											
何 年 度	0		0		0		0		0		
何 年 度	0		0		0		0		0		
計	0		0		0		0		0		
租 稅 外											
(租稅ニ同シ)											
何々特別會計											
(租稅ニ同シ)											
合 計	0		0		0		0		0		
拂込未済額區分											
某所主任收入官吏官氏名									0		
某所分任收入官吏官氏名									0		
某所分任收入官吏官氏名									0		
身元保證金											
主任收入官吏官氏名	0										
分任收入官吏官氏名	0										

○分任收入官吏既證明ノモノメリトモ之ヲ本欄ニ記入シ其事由ヲ備考ニ記載スヘシ

滯納處分金

摘要	受入					
	前年度未拂額		本年度領額		計	
	円	銭	円	銭	円	銭
何年度計	0	0	0	0	0	0

拂出未済額区分  
 某所主任收入官吏官氏名  
 某所分任收入官吏官氏名  
 某所分任收入官吏官氏名

明治何年度收入計算書證明候也

職官氏名印

會計検査院長宛

年月日

◎收入證明規程第一條ニ據ル收入計算書調製ノ件  
 明治三十四年三月十一日  
 鐵計檢發第二七二號部長通牒  
 收入證明規程第一條ニ據ル收入計算書ハ各部門毎ニ別冊トシ調製相成度會計検査院ト協議濟ニ付此段及通牒候也

○會計院達第二號第四條ニ關スル件

一條検査掛事務官ヨリ主任收入官吏へ通牒 (明治三十四年四月廿七日) 鐵計檢發第四七四號ノ一  
 會計検査院達第二號收入證明規程第四條ノ檢定書ハ收入官吏交替ノ爲メ其ノ取扱中ノ證明ニ係ル收入計算書ノ外ハ添付セサルコトニ會計検査院へ協議濟ニ付キ此段及御通牒候也

◎租税外歳入徴收額證明規程 明治三十四年六月廿六日  
 會計検査院達第四號

租税外歳入徴收額證明規程

- 第一條 會計規則又ハ各特別會計規則ニ據リ歳入ヲ徴收スル官吏ノ調製スヘキ歳入徴收額計算書ハ第一號書式ニ據ルヘシ
- 第二條 歳入徴收額計算書ニハ第二號乃至第四號書式ニ據リ調製シタル收入未済額明細書地所貸下明細書貸付金明細書ヲ添付スヘシ
- 第三條 左ノ事項ハ歳入徴收額計算書ノ備考ニ記載スヘシ  
 但事ノ復雜ニ涉ルモノハ説明書ヲ添付スヘシ  
 一、缺損補填ヲ受ケタルモノアルトキハ其金額事由  
 二、國庫移替ニ係ルモノアルトキハ其金額事由  
 三、調定若クハ確定ノ過不足ニ係ルモノアルトキハ其金額事由并ニ追徴下戻ノ顛末

四、前年度調定不足額ヲ調定シ又ハ前年度收入未済額ヲ收入シタルモノアルトキハ各其金額事由

五、印紙收入ノ延納賣下ニシテ納期ノ翌年度ニ属スルモノアルトキハ其金額事由

六、國稅滯納處分費ノ辨納金中引繼引受ヲ爲シタルモノアルトキハ各稅務管理局ニ區分シ其金額事由

第四條 證憑トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ

一、物件ノ賣拂、貸下、製造、修繕其他ノ收入ニ關シテハ契約書契約書ナキモノハ請求書、決議書類若シ該書類中物件ノ品質（同名稱ニシテ等級ア 數量金額及事由ノ明記ナキモノハ之ヲ認ムヘキ書類ヲ添付スヘシ

前項ノ證憑書類ハ會計検査院ノ承認ヲ經テ他ノ書類ヲ以テ代用シ又ハ之ヲ省略スルコトヲ得

二、葉煙草賣渡代ニシテ延納ヲ許可シタルモノハ其期限及擔保金額又賣渡代價定率ニ依ラサルモノハ其事由、回送ニ係ルモノハ其回送費ヲ詳記シタル書類ヲ添付スヘシ

三、不納缺損ニ係ルモノアルトキハ其事實ヲ認ムヘキ書類

第五條 物件ノ賣拂貸下ニ關シテ競争ニ付シタル契約書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一、物件ノ賣拂又ハ貸下ニ關スル決議書類

二、會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但其公告方法ヲ付記スヘシ

三、豫定價格調書但其算出ノ基ク所ヲ示スヘシ

四、一番札ヨリ五番札ニ至ル入札書

競争ノ落札者契約結ハスシテ更ニ競争ヲ行ヒタル場合ニ在リテハ尙前回ノ競争ニ關スル前項ノ

ノ書類ヲ其證憑書ニ添付スヘシ

第六條 物件ノ賣拂貸下ニシテ競争ニ付スルモノ入札者ナキトキ又ハ再度ノ入札ニ付スルモ豫定價格ノ制限ニ達セス隨意契約ヲ爲シタルモノハ契約書ニ其事由ヲ付記シ第五條ニ規定シタル書類ヲ添付スヘシ

第七條 前各條ノ外特ニ明細書ヲ要スルモノハ別ニ之ヲ指定ス

第八條 證憑書類中既ニ他ノ計算證明上會計検査院ニ提出濟ノモノアルトキハ其事由ヲ計算書ノ備考ニ記載スヘシ

第九條 證憑書ハ各目ニ區分編纂シ其金額紙數ヲ表紙ニ記載スヘシ尙細別ヲ要スルモノハ適宜其區分ヲ爲スヘシ

附 則

第十條 本規程ハ明治三十三年度分ヨリ施行ス

明治三十三年度分ノ證憑書及明細書ニ限リ租稅外歳入調定額證明規程各特別會計歳入確定額證明規程ノ例ニ依ルコトヲ得臺灣歳入及稅關雜收入ニ關スル證明規程ハ別ニ之ヲ定ム

明治何年度歳入經常部何々  
(款)歳入臨時部何々(款)徵  
收額計算證明候也

職官氏名印

會計検査院長宛

年 月 日

摘要	調定済額 (確定額)		収入済額		不納欠損額		収入未済額		備考
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
歳入經常部									
何々(款)									
何々(項)									
何々(目)	0		0		0		0		
何々	0		0		0		0		
計	0		0		0		0		
何々(項)									
何々(目)	0		0		0		0		
何々	0		0		0		0		
計	0		0		0		0		
合計	0		0		0		0		
何々(款)									
何々(項)									
何々(目)	0		0		0		0		
何々	0		0		0		0		
計	0		0		0		0		
總計	0		0		0		0		
歳入臨時部 (經常部=同シ)									

○調定済額ニハ前年度未收入ニシテ本年度收入済ニ係ルモノ及調定外誤納ノモノアルトキハ其金額ヲ併算スヘシ

(收入官吏ノ現金領收額アルトキ又ハ収入内額ト金庫ノ領收済額ト差違アルトキハ本欄ヲ付スヘシ)

摘要	金額		備考
	円	銭	
収入官吏現金領收額			
當該年度三月三十一日迄ノ分	0		内何圓ハ主任收入官吏某扱何圓ハ主任收入官吏某扱ノ分 (職人ノ主任收入官吏ノ區ガルトキハ原領金額及 其官氏名ヲ稱シテ其任職者ヲ添付スルモ妨ケナシ)
翌年度七月三十一日迄ノ分	0		
計	0		
収入済額ト金庫領收済額トノ差異			
収入官吏翌年度七月三十一日迄現金拂込未済額	0		内何圓ハ何々ニ由リ何圓ハ何々ニ由リ拂込未済
収入官吏本年度歳入ト何年度歳入ト ノ翌年度七月三十一日迄ニ誤拂込額	0		何年何月日据置認許ノ分
何々	0		
計	0		
収入官吏何年度歳入ト本年度歳入ト ノ翌年度七月三十一日迄ニ誤拂込額	0		
何々	0		
計	0		
翌年度七月三十一日迄金庫ノ領收済通知總額	0		

第一號

明治何年度  
 歳入經常部  
 何々(款) 何々(款)  
 歳入臨時部  
 何々(款) 何々(款)  
 徴収額計算書

計算書ハ一般會計ト特別會計ト各別ニ調製スヘシ  
 計算書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ表紙ニ記載ス  
 計簿及明細書ノ用紙ハ罫沙引厚質美濃紙ニツ折  
 チ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ存スヘシ  
 計算書及明細書ハ改換塗抹ヲ禁ス若シ誤脱脱字等  
 ニテ訂正ヲナシタルトキハ二線ヲ横斷シ主任官更  
 之ニ捺印スヘシ

証憑書 何冊  
 何々

廳 名

年月日  
 職官氏名印

納期日	金額		備考
	円	銭	
何年何月何日 ク	0	0	何々ヨリ收入未了 何々
ク	0	0	何々
ク ク	0 0	0 0	何々 何々
	0		
	0		

○前年度ヨリ繰越未収入額ニシテ本年度中尙收入ニ至ラサルモノアルトキハ各之ヲ別項トナシ毎年度ニ區分掲記スヘシ  
 ○前年度ヨリ繰越未収入額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其金額事由ヲ備考ニ掲記スヘシ

段	別	料 金	調定濟額 (確定額)		備 考		
			円	圓			
町	段	款	歩	合	円	圓	
0					0	0	
0					0	0	
0					0	0	
0					0	0	
0					0	0	
0					0	0	
0					0	0	
0					0	0	
0					0	0	
0					0	0	
0					0	0	

年 月 日

職官氏名印

○年期貨下地ニ係ル料金ハ年額ナリ一時貸下地ニ係ル分ハ其料金ノ全額ヲ掲記スヘシ  
 ○減ノ部調定濟額ハ調定濟ノ金額ヲ失書スルニ止メ墨書調定濟額ト差引ヲ要セス  
 ○料金ト調定濟額ト計算上適合セサルモノアルトキハ其金額事由ヲ掲記スヘシ

(△)米書)

第二號

明治何年度

收入未濟額明細書

廳 名

摘 要	
歳入經常部	
何々(款)	
何々(項)	
何々(目)	
住所氏名	
何々	
計	
何々(目)	
何々	
合計	
何々(款)	
何々(項)	
何々(目)	
何々	
何々	
計	
總計	
歳入臨時部	
(經常部ニ同シ)	



摘要	
原野之部	
年期貸下地	
何年何月一日現在高ニ對スル分	
増之部	
何年何月貸渡	
ク何月貸渡	
増ノ部計	
減之部	
何年何月満期ノ分	
何年何月何々ニ依リ削除ノ分	
何々	
減ノ部計	
増減差引計	
一時貸下地	
合計	

第三號

明治何年度

地所貸下明細書

應名

年月日

職官氏名印

○本年度増減額ニ對シテ各其事由ヲ備考ニ記載スヘシ  
 ○雜種貸、擔置貸、學校生徒貸返納金ノ摘要ニ區分掲記スヘシ  
 ○學校生徒貸費ハ一人毎ノ民業資本金ノ雜種貸ハ一厩限リ其他ノ貸下ノ總額ヲ掲記スヘシ

貸在				高		調定濟額		備考
前年度	本年度	本年度	翌年度	円	圓	円	圓	
り越	増	減	へ越					
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	



- 一 地所及建物ノ拂下
  - 二 見積價格貳百圓以上ノ物品拂下
  - 三 一箇年若クハ一回貸下料金五圓以上ノ地所其他ノ貸下但官舎貸下料及敷地料ハ之ヲ除ク尤官舎貸下料額ニ異動ヲ生シタルトキハ其評價書及異動ノ理由書ヲ要ス
  - 四 艦船製造修繕ノ受託
  - 第二海外電報料ニ對シテハ各郵便電信局ノ報告ニ係ル電報類別總計表
  - 第四條 會計規則第八十條第八十一條ニ基キ取結ヒタル賣却又ハ貸下ニ關スル競争契約書ニハ左ノ書類ヲ添附スヘシ
    - 一 物件賣却又ハ貸下ノ理由書
    - 二 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但再入札ノ場合ニ於テハ前公告書共
    - 三 豫定價額調書
    - 四 落札以下三番札迄但再入札ノ場合ニ於テハ前入札最高以下三番札迄ノ分共
  - 第五條 證憑書類中既ニ他ノ計算證明上會計檢査院ニ提出濟ノモノアルトキハ其事由ヲ調定額計算書ノ備考ニ掲載スヘシ
  - 第六條 證憑書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其枚數ヲ表記スヘシ尙ホ細別ヲ要スルモノハ適宜其區分ヲ爲スヘシ但各目ヲ合セテ簿冊ヲ成セシモノハ區分ヲ要セス
- 附 則
- 第七條 稅關雜收入ニ關スル證明規程ハ別ニ之ヲ定ム
  - 第八條 本規程ハ明治二十六年分ヨリ施行ス
- (別記)

凡 例

- 一 調定官吏ニシテ數管理廳ニ屬スル調定事務ノ取扱ヲ爲シタルモノアルトキハ每管理廳別冊ニ其計算書ヲ調製スヘシ
- 二 調定額計算書内譯中其様式ヲ示サ、ル收入事項ハ本書式ノ例ニ準シ適宜調製スヘシ
- 三 計算書ノ用紙ハ厚質縹沙引美濃紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明クヘシ
- 四 計算書ハ改描塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横斷シ主任官吏之ニ捺印スヘシ
- 五 計算書ヲ受授スルモノハ其年月日ヲ各其表紙ニ記載スヘシ
- 六 本書式ノ外支部局等ヲ分ツノ必要アルモノハ適宜其區別ヲ爲スヘシ

<p>明治何年度</p> <hr/> <p>歲入經常部</p> <hr/> <p>何々(款) 何々(款)</p> <hr/> <p>歲入臨時部</p> <hr/> <p>何々(款) 何々(款)</p> <hr/> <p>調定額計算書</p>		
<p>應 名</p>		

入官吏等(各々) 調定濟額區分

某所	某所	某所	某所	某所	某所	某所	計	
								円
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	

摘要	調定濟額		備考	摘要	調定濟額		備考
	円	銭			円	銭	
歳入臨時部 (歳入經常部=同シ)				歳入經常部			
				何々(款)			
				何々(項)			
				何々(目)	0		
				何々	0		
				項合計	0		
				何々			
				何々々	0		
				何々々	0		
				項合計	0		
			款合計	0			
			何々				
			(以下前例=同シ)				
			經常部合計	0			

紙及登記印紙料

調定額		延納翌年度へ越高		備考
円	銭	円	銭	
0		0		
0		0		
0		0		

手 取

前年度 延納高	費 下 代							
	六分引	七分引	何々					
円	銭	厘	円	銭	厘	円	銭	厘
0	0		0			0		
0	0		0			0		
0	0		0			0		

料

計	合 計	
	円	銭
0	0	
0	0	
0	0	

歳入經常部内譯

(数箇所主任收  
ル下キハ此區分)

摘 要
歳入經常部
何々(款)
何々(項)
何々(目)
何々
項合計
何々
何々
何々
項合計
款合計
何々
(以下前例=同シ)
經常部合計
歳入臨時部
(歳入經常部=同シ)

備考		摘要		調定済額		備考	
		一人ノ賃額	延人員	円	銭		
一 居留地等ニシテ年期ノ定メナキ貸下地アルトキハ年期貸下地ノ例ニ依リ區分掲上スヘシ							
二 年期貸下地ニ係ル料金ハ年期ナシ一時貸下地ニ係ル分ハ其料金ノ金額ヲ掲上スヘシ							
三 減ノ部調定済額ハ調定済ノ金額ヲ米費スルニ止メ農書調定済額ト差引ヲ要セス							
囚徒備錢							
何所何々	何々製ノ爲菜へ貸與	0	0	0	0		
何	々々	0	0	0	0		
何	々々	0	0	0	0		
何	雑	0	0	0	0		
計				0			
合計				0			

一 摘要欄内賃錢ハ其員額ノ異ナルニ隨ヒ區分掲載スヘシ

囚徒工錢收入

訴訟用印

摘要		調定済額		備考	
摘要	備考	円	銭		
製造品拂下					
煉化石		0	0		
瓦		0	0		
漉返紙		0	0		
何々		0	0		
計		0			
農産物拂下					
大		0	0		
大		0	0		
何		0	0		
何		0	0		
計		0			
何々拂下					
何		0	0		
何		0	0		
何		0	0		
何		0	0		
計		0			

訴訟用印紙料  
登記印紙料  
合計

官有物貸下料		地所貸下料				
摘	要	調定済額				備考
		料金		円 銭 厘		
		町	段	銭	厘	
何々ノ部 (以下前例ニ倣ヘ)						
總計				0		

官有物貸下料		地所貸下料			
摘	要	調定済額			
		料金		円 銭 厘	
		町	段	銭	厘
原野ノ部					
年期貸下地					
何年四月一日現在貸高ニ對スル分		0			0
増ノ部					
年額五圓以上ニテ貸渡ノ分					
何年何月貸渡		0			0
何月貸渡		0			0
年額五圓以内年期五箇年以上ニテ貸渡ノ分					
何年何月貸渡		0			0
何月貸渡		0			0
年額五圓以内年期五箇年以内ニテ貸渡ノ分					
何年何月貸渡		0			0
何月貸渡		0			0
増ノ部計		0			0
減ノ部					
何年何月満期ノ分		0			[0]
何年何月何々ニ依リ解除ノ分		0			[0]
何々		0			[0]
減ノ部計		0			[0]
増減差引計		0			0
一時貸下地					
一回五圓以上ニテ貸下ノ分		0			0
一回五圓以内ニテ貸下ノ分		0			0
計		0			0
前年度調定未済額					0
合計					0

調定済額		備 考	摘 要	調定済額		備 考
円	銭			円	銭	
0			揮發物貯庫敷料	0		
0			石 炭 油	0		
0			何 々	0		
0			計	0		
0			爆發物貯庫敷料	0		
0			ダイナマイト	0		
0			火 薬	0		
0			何 々	0		
0			何 々	0		
			計	0		
			何 々	0		
			何 々	0		
			計	0		
			合 計	0		

官 有 物 貨 下 料 建 物 貸 下 料

摘 要	調定済額		備 考
	越 坪	月 額	
<b>官 倉 貸 下 料</b>			
何號官倉何官某〜何年何月何日ヨリ何年何月何日迄貸下料	0	0	
何號官倉何々	0	0	
何 々	0	0	
何 々	0	0	
何 々	0	0	
計	0	0	
<b>倉 庫 貸 下 料</b>			
某倉庫某〜何年何月何日ヨリ何年何月何日迄貸下	0	0	
某倉庫何々	0	0	
何 々	0	0	
何 々	0	0	
計	0	0	
何 々	0	0	
何 々	0	0	
何 々	0	0	
計	0	0	

一 官倉貸下料額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其事由ヲ掲上スヘシ  
 二 一年期又ハ一時貸下料金ノ區分ハ摘要欄内ニ適宜之ヲ記載スヘシ

何々(貸下事由以下同シ)  
 何々



金 送 約 金			辨 償 金			毀損紛失物品辨償金					
調定済額			備 考			調定済額			備 考		
円	銭	厘				円	銭	厘			
0			何官某何品毀損(紛失)何年何月何日處分済			0					
0			何官某何品外幾品毀損(紛失)何年何月何日處分済			0					
0			何々			0					
0			何々			0					
0			兵卒(巡查)某外若干名物品毀損(紛失)ノ分			0					
0			何々			0					
合計						0					

懲罰及沒收金			沒 收 金			懲罰及沒收金			
摘 要			調定済額			備 考			
		件數	円	銭	厘				
何規則違犯ノ沒收金		0	0			國事ニ關スル罪ノ罰金			0
何々ノ沒收金		0	0			信用ニ關スル罪ノ			0
何々		0	0			何々			0
合計			0			刑法違警罪ノ科料			0
						何々規則違犯ノ			0
						何々			0
						合計			0

雜 入		返 納 金		辨 償 金		間接國稅犯則者 處分費辨納金	
摘 要	調定濟額		備 考	摘 要	調定濟額		備 考
	円	銭			円	銭	
何年度何費(款項目)			何年何月何日會計	書類送達費	0		
過拂ノ分何官某納	0		検査院判決ノ分	何々	0		
何々	0		何々	合 計	0		
何年度何費(款項目)			何年何月何日仕拂				
誤拂ノ分某納	0		ノ分				
何々	0		何々				
合 計	0						

辨 償 金		國稅滯納處分費辨納金		辨 償		
摘 要	調定濟額		備 考	摘 要	調定濟額	
	円	銭			円	銭
督促令狀手数料	0			住所氏名何々入札保證金没		
差押調書(賣却調書何々)調				收ノ分		
製費	0			住所氏名何々ノ件ニ係ル違		
滞納者債主負債主ニ對スル				約金		
通信費	0			何々		
差押物件運搬保管等ニ要セ				何々		
シ費用	0			合 計		
公 告 費	0					
何々	0					
合 計	0					



電信収入

切手類  
賣下代

何々々々

調定済額		備考	摘要	調定済額		備考
円	銭			円	銭	
0	0		(前年度ヨリ繰越額及ハ不納缺損額ヲトキハ此 式ニ依リ各目合計ノ次ニ掲記スヘシ以下做之)			
0	0		前年度繰越高			
0	0		何年三月三十一日未収入ノ分			
0	0		某所取扱ノ分 (既得所ニ主任収入官吏 ヲ置キテ取扱スルノ分)	0		
0	0		某所取扱ノ分	0		
0	0			0		
0	0		何年七月三十一日未収入ノ分			
0	0		某所取扱ノ分	0		
0	0		某所取扱ノ分	0		
0	0		計	0		
0	0		不納缺損高			
0	0		本年度分			
0	0		某所取扱何某ニ係ル何々ノ何々ノ事由ニ 依リ取扱スル分	0		
0	0		” 何々	0		
0	0		某所取扱何々	0		
0	0		某所取扱何々	0		
0	0		計	0		
0	0		前年度繰越高ノ分			
0	0		某所取扱何年度所屬何某ニ係ル何々ノ何々 ノ事由ニ依リ取扱スル分	0		
0	0		” 何々	0		
0	0		某所取扱何々	0		
0	0		某所取扱何々	0		
0	0		計	0		

(以下郵便電信収入、官報収入、北海道廳取扱雑収入ノ内雜入ニ關スル内譯書式)

官吏遺族扶助法納金 (製履費補足金モ此例ニ準ス)

森

摘要	俸給月額		納金月額		月数	日数	調定済額		備考	摘要
	円	銭	円	銭			円	銭		
勅任										何年何月何日 何日何月何日
某官氏名	0		0		0		0			何所某
何々	0		0		0	0	0			何所某
計							0			何所某
委任										計
某官氏名	0		0		0		0			松立木
何々	0		0		0	0	0			何所某
計							0			何々
判任										何々
某官氏名	0		0		0		0			何々
何々	0		0		0	0	0			何々
計							0			計
合計							0			合計

郵便電信收入 約束郵便料

摘要	調定額		備考
	円	銭	
何	0	0	
何	0	0	
合計	0	0	

郵便電信收入 官報郵便料

摘要	調定額		備考
	円	銭	
官報局下締約高	0		

郵便電信收入 私書函料 (郵便電信収入ノ分) 郵便

摘要	期限	月額		月数	調定額		備考
		円	銭		円	銭	
何某外何人	何年何月何日 何月迄何月何日			0	0		切手賣下代
何某外何人	—			0	0		封皮—
合計					0		葉書—
							帶皮—
							合計

郵便電信收入 外國爲替貨幣交換差増				郵便電信收入 外國爲替歩合金					
摘 要	調定済額			備 考	摘 要	調定済額			備 考
	円	銭	厘			円	銭	厘	
英 國									
八 月 中	0								
九 月 中	0								
十 月 中	0								
計	0								
佛 國									
第 一 期	0								
第 二 期	0								
第 三 期	0								
計	0								
合 計	0								

郵便電信收入 外國郵便物遞送料差金								
摘 要	受入高		仕拂高		差 金		調定済額	備 考
	フランク	円	フランク	円	フランク	円		
米國爲替相場	0		0		0		0	
英國 ”	0		0		0		0	
何國 ”	0		0		0		0	
合 計	0		0		0		0	

郵便電信收入 電信取扱料			郵便電信收入			
摘要	調定額		備考	摘要	期限	每期定率
	円	銭				
何	0			何 某 外 何 人	自 何 年 何 月 何 日 至 何 年 何 月 何 日	0
何	0			何 某 外 何 人	—, —	0
合計	0			合計		

電話料			郵便電信收入 海外電報料				
摘要	調定額		備考	摘要	調定額		備考
	円	銭			厘	円	
徴收度数	0			海外電報料	0		
	0						
	0						







官報收入		法令全書賣下代		官	
摘要	部數	調定濟額	備考	摘要	本年發售部數
法令全書				過年度發刊ノ分	
本年度發刊ノ分	0	0		月極普通賣下	
過年度發刊ノ分	0	0		官報本紙	0
合計		0		同附號外々	0
				同同何	0
				計	
				月極端數賣下	
				官報本紙	0
				同附號外々	0
				同同何	0
				計	
				月極特約賣下	
				官報本紙	0
				同附號外々	0
				同同何	0
				計	
				一部賣下	
				官報本紙	0
				同附號外々	0
				同同何	0
				計	
				合計	

普通月極購讀者區分			官報收入 官報登載手數料			
本年度分			備考	摘要	調定濟額	備考
年	月	購讀者數				
四	月			何會社何々廣告 何	0	
五	月					
六	月					
七	月			合計	0	
八	月					
九	月					
十	月					
十一	月					
十二	月					
一	月					
二	月					
三	月					
	合計					

業 税										入 雑		
減		乙年一月一日現在高		調定額	備考	摘要	戸 数					
一等	二等	一等	二等				一等	二等	何等			
				円 銭 厘		甲年一月一日現在高						
						増						
						減						
						同年七月一日現在高						
						増						
						減						
						乙年一月一日現在高						
						合 計						

備考  
一 増減ニ對シテハ開業廢業ノ年月ヲ掲ケ計算ノ基礎ヲ明示スヘシ但事ノ複雑ニ涉ルモノアルトキハ別冊ヲ以テ説明スヘシ雜種税及雜收モ亦同シ

月 租 割 (北海道廳取扱雜收) 入 地 租 割									
調定額		備考	摘要	地 租		調定額	備考		
円 銭 厘	円 銭 厘			円 銭 厘	円 銭 厘				
		一 前項根室縣布達ニ依リ賦課シタルモノハ第一期ハ四月一日第二期ハ十月一日ノ現在高ヲ摘要ニ掲クヘシ 二 函館縣税率施行ノ分ハ每期其賦課額ヲ掲クヘシ	甲年一月一日現在高	増					
				有 地 租 成					
				缺 下 年 期 明					
				何 何 々 々					
				計					
				減					
				道 路 成					
				地 目 變 換					
				何 何 々 々					
				計					
			甲年七月一日現在高	増					
				有 地 租 成					
				缺 下 年 期 明					
				何 何 々 々					
				計					
				減					
				道 路 成					
				地 目 變 換					
				何 何 々 々					
				計					
			乙年一月一日現在高	増					
				有 地 租 成					
				缺 下 年 期 明					
				何 何 々 々					
				計					
				減					
				道 路 成					
				地 目 變 換					
				何 何 々 々					
				計					
			合 計						

摘要	商 入 雜																										
	甲年三月三十一日現在			增			減			甲年七月一日現在			增			減			乙年一月一日現在			增					
	一等	二等	何等	一等	二等	何等	一等	二等	何等	一等	二等	何等	一等	二等	何等	一等	二等	何等	一等	二等	何等	一等	二等	何等			
社會實業會	人員	人員	人員	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃
社商々々																											
合計																											

摘要	入 雜 稅																							
	甲年七月一日現在			增			減			乙年一月一日現在			增			減			乙年三月三十一日現在			調定額		備考
	一等	二等	何等	一等	二等	何等	一等	二等	何等	一等	二等	何等	一等	二等	何等	一等	二等	何等	一等	二等	何等	円	銭	
	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃	〃			



拂下代		地所拂下			
調定濟額		備考	摘要	雄數	別段又ハ坪數
円	銭				町 段 畝 坪
0	0	何々(拂下事由) 何々	原野ノ部		
0	0		某地所某へ拂下		
0	0		何々		
0	0		何々		
0	0		計		
0	0		何々ノ部		
			何々		
			何々		
			計		
			合計		

代		雜			
調定濟額		備考	摘要		
円	銭		明治四年四月 一日現在	何 等	何 等
			人員	人員	人員
0	0	何々(拂下ノ事由)以下同 何々 何々	歳入臨時部内譯		
0	0				
0	0				
0	0				
0	0				
0	0				
0	0				
0	0				
0	0				
0	0				
			貸座敷賦金		
			娼妓賦金		
			合計		

物品拂下代 建物

摘要	單位ノ稱	數量	調定濟額		備考	種別	建坪	
			円	銭				
生産物					一 拂下物品ノ毎品ニ區分揚上スヘシ但残末ナル雜品ハ便宜類集スルモ妨ケナシ			
蕨	根	0	0			某建物某へ拂下	木造平家	0
芝	草	0	0			何々々々	煉化二階家	0
竹	皮	0	0			何々々々	何々々々	0
何	々	0	0			何々々々	何々々々	0
	計		0			合計		
不用物品								
椅	子	0	0					
卓	子	0	0					
紙	屑	0	0					
空	袋	0	0					
書	紙	0	0					
何	々	0	0					
	計		0					
官没拾得品								
烟	入	0	0					
草	々	0	0					
何	々	0	0					
何	々	0	0					
	計		0					
合計			0					

返納金 民業資本金 雜種貸 据置貸

摘要	歳首貸在		本年度返納スヘキ高		調定濟額		歳首貸在ト調定濟額トノ差		本年度返納スヘキ高ト調定濟額トノ差		備考
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
元金ノ部											一 民業資本金雜種貸一限限リ其他ノ貸シ下ノ總額ヲ以テ掲出スヘシ 二 本年度返納スヘキ高ハ歳首ノ員額ニ依リ掲記スヘシ但該員額ト調定濟額ト差違アルトキハ其事由ヲ記載スヘシ
民業資本金											
何々ノ爲メ何某へ貸下											
(一箇年利子何分)	0		0		0		0		0		
何々ノ爲メ何某外若干名へ貸下(一箇年利子何分)	0		0		0		0		0		
何々	0		0		0		0		0		
何々	0		0		0		0		0		
何々	0		0		0		0		0		
計	0		0		0		0		0		
据置貸	0		0		0		0		0		
合計	0		0		0		0		0		

返 納 金 何 々

摘 要	本年度収入スヘキ高		調定済額	本年度収入スヘキ高ト調定済額トノ差		備 考
	前年度調定未済ノ分	本年度分		円 銭 厘	円 銭 厘	
利 金 ノ 部						
何々ノ爲メ某へ貸下金ニ對スル利金	0	0	0	0		
何々ノ爲メ某外若干名へ貸下金ニ對スル利金	0	0	0	0		
何 々	0	0	0	0		
何 々	0	0	0	0		
合 計	0	0	0	0		

明治何年度歳入經常部何々(款)何々(款)歳入臨時部何々(款)何々(款)調定額書面之通相違無之候也

調定官氏名 宛

會計検査院長 宛

年 月 日

◎官設鐵道用品資金會計歳入確定額證明規程 明治二十七年五月十五日

官設鐵道用品資金會計歳入確定額證明規程左ノ通定ム

官設鐵道用品資金會計歳入確定額證明規程

第一條 官設鐵道用品資金會計規則ニ依リ當該官吏ヨリ會計検査院ニ證明スヘキ歳入確定額計算書ハ別記書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ

第二條 左ノ事項ハ歳入確定額計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雑ニ涉ルモノハ説明書若クハ其所由ヲ確認シ得ヘキ書類ヲ添附スヘシ



- 一 豫算各目ノ金額ニ比シ確定額ニ増減アリシトキハ其事由
- 二 過誤納ニ係ルモノニシテ其下戻ヲ了シタルモノ又ハ下戻ヲ要スヘキモノアルトキハ各其金額事由

第三條 歳入確定額證明上證據書類トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ

- 一 物品ノ賣却ニ關シテハ經費ノ各科目ニ對スル賣却代價仕譯書但原價(購入原價ニ製作費修理費等ヲ加ヘタル者ヲ云)及損減歩合ノ記載ヲ要ス

二 不用物品ノ賣却ニ關シテハ各種ノ契約書又ハ決議書

第四條 證據書類ハ原本ニ限ル若シ其原本ヲ提出シ難キ場合ニ於テハ當該官吏ノ保證アル謄本ヲ以テスヘシ

第五條 會計規則第八十條第八十一條ニ基キ競争契約ヲ爲セシモノアルトキハ左ノ書類ヲ添附スヘシ

- 一 物件賣却ノ理由書
  - 二 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但再入札ノ場合ニ於テハ前公告書共
  - 三 豫定價格調書
  - 四 落札以下三番札迄但再入札ノ場合ニ於テハ前入札最高ノ分共
- 第六條 證據書類ノ編纂ハ各目ニ區分シ其金員枚數ヲ表記スヘシ但特ニ各目ヲ合セテ簿冊ヲ爲セシモノハ區分ヲ要セス

附 則

第七條 本規程ハ明治二十七年年度ヨリ施行ス

(別記)

凡 例

- 一 計算書ヲ授受スルモノハ其年月日ヲ各自該表紙ニ記載スヘシ
- 二 計算書ノ用紙ハ厚質縹沙引美濃紙ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ明クヘシ
- 三 計算書ハ收據塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ要スルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

明治何年度何々(款)

歳入確定額計算書

名 廳

摘要	豫算額		確定額		増		減		備考
	円	銭	円	銭	円	銭	円	銭	
何々(項)									
何々(目)	0		0		0		0		
何々	0		0		0		0		
合計	0		0		0		0		
明治何年 度何々 (款) 歳入 定額 計算書 面之 通相 無之 候也	何	々	何	々	何	々	何	々	何
會計 院 長 宛 月 日	會	計	院	長	宛	月	日		名 印

第二節 支出證明

◎支出證明規程 明治三十二年五月十一日 會計検査院達第一號

明治二十六年會計検査院達第二號支出證明規程左ノ通改正ス

支出證明規程

- 第一條 會計規則又ハ各特別會計規則ニ依リ仕拂命令官又ハ作業事務長作業支部局長學校長圖書館長若クハ其支部長ノ調製スヘキ支出計算書ハ別記書式ニ據ルヘシ
- 第二條 左ノ事項ハ支出計算書ノ備考ニ記載スヘシ但事ノ複雑ニ涉ルモノハ説明書ヲ添付スヘシ
- 一 科目更正若クハ定額戻入ヲ爲スヘキモノアルトキハ其金額事由
  - 二 誤拂過渡其他ノ返納ニ由リ戻入ニ組入ルヘキモノアルトキハ其金額事由
  - 三 缺損補填ヲ受ケタルモノアルトキハ其金額事由
- 第三條 最終支出計算書ニハ豫算各目増減事由明細書及年度末日現在人員部局別官等俸給明細書ヲ添付スヘシ
- 作業事務長ノ最終支出計算書ニハ第一項明細書ノ外左ノ書類ヲ添付スヘシ
- 一 受拂勘定表但物品會計官吏毎ニ區分シタル各種物品價格受拂仕譯書ヲ要ス
  - 二 年度末日計算表
  - 三 固定資本價格増減明細書並其評價書類及鐵道修理費調書
  - 四 材料素品機械運轉用品生産品又ハ造船材料鐵道用品ニシテ年度末ニ於テ其價格ヲ改定シタルモノアルトキハ每件其事由及市價又ハ生産費調書
  - 五 支出未済ニシテ翌年度ニ繰越シタルモノアルトキハ每件其金額事由明細書

六 代價收入済ニシテ物品未渡ニ係ルモノアルトキハ每件其金額事由明細書  
學校長又ハ圖書館長ノ最終支出計算書ニハ第一項明細書ノ外左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 維持資金及特別資金明細書

二 支出未済支出殘額又ハ仕拂未済ニシテ翌年度ニ繰越シタルモノアルトキハ每件其金額事  
由明細書

三 歳入殘餘ニシテ維持資金若クハ特別資金ニ組入レタルモノアルトキハ其金額調書

○同規程第三條中疑義ノ件

外務省照會 (明治三十二年五月二十三日)

仕拂證明規程改正相成候處右ノ内柳疑義ニ涉リ候件左ノ通ニ付何分ノ御回答相成度

第三條中最終仕拂計算書提出ノ際仕拂殘額ノ返納ヲ了セサルモノアルトキハ其事由及完結期限ヲ記載シタル調書ヲ添  
付スヘシト有之候處右ニ據レハ前渡金ノ仕拂殘額ハ其前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ直チニ返納スヘキ者ノ如ク相見得候得共  
在外公館ニ於ケル從來ノ慣例ニ依レハ該殘額ハ前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ更ニ收入官吏ヘ交付シ收入官吏ハ之ヲ歳入金  
トシテ保管シ金庫ヘ拂込テ手續ヲ爲スモノニ有之故ニ前文返納ヲ了セサルトハ收入官吏ヘ交付ヲ了セサル職ト解釋シ  
可然哉

又仕拂殘額ニ收入官吏ヘ交付済ノ場合ト雖トモ前渡ヲ受ケタル官吏ヨリ直接金庫ヘ拂込タルモノニ無之ニ付其金額ハ  
仕拂計算書ノ領收額ヨリ控除ヲ要セサルヤ

會計検査院回答 (明治三十二年六月七日)

前段御來意ノ通り後段ノ件收入官吏ヘ交付済ノ場合ニ於テモ返納額ノ欄ニ記入シ支出計算書ニ於テハ現金前渡仕拂命令  
濟額ノ部備考歳入納付額中ニ記載相成度候

第四條 最終支出計算書提出ノ際概算渡現金前渡ノ精算ニ至ラサルモノ前金拂ニ係ル製造又ハ物  
件ノ購買ニシテ其事ノ完了ニ至ラサルモノ及誤拂過渡科目違ノ處分未済ニ係ルモノアルトキハ  
其事由及完結期限ヲ記載シタル調書ヲ添付スヘシ

最終支出計算書提出ノ後誤拂過渡科目違ヲ發見シタルトキハ其都度之ヲ報告スヘシ  
前二項ノ各事項ハ處分完結ニ隨ヒ其證憑書ヲ添ヘ之ヲ報告スヘシ

第五條 支出ノ證憑トシテ提出スヘキモノハ正當受取人ノ領收證書工事又ハ物件ノ購買借入ニ關  
スル契約書及請求書其他支出ノ所由並計算ノ基ク所ヲ證明スヘキ書類トス但事ノ複雜ニ涉ルモ  
ノハ明細書若クハ説明書ヲ添付シ又臨時特殊ニ係ル事項ハ當該長官ノ命令書若クハ決議書等ヲ  
添付スヘシ

集合仕拂命令集合仕拂請求書及金庫所在地外ニ於テ仕拂ヲ要スヘキ裏書アル仕拂命令仕拂請求  
書ヲ發シタル場合ニ在リテハ金庫ノ領收證書ヲ提出スヘシ  
領收證書ニハ仕拂命令又ハ仕拂請求書ノ番號ヲ付記スヘシ

○同上第五條中疑義ノ件

大坂局電報照會 (明治三十二年五月十二日)

改正支出證明規程第五條ノ請求書領收書ニ支出ノ所由并ニ計算ノ基クトコロヲ記入シアルモ尙一般ニ提出スヘキヤ又旅  
費ノ概算領收書ニハ旅行仕譯ノ添付ヲ要セサルヤ

會計課電報照會 (明治三十二年五月十五日)

請求書ハ金庫ノ領收證書ニ對スル分提出ヲ要シ又概算證書ニハ是迄通り旅行仕譯ヲ添ユルニ及ハス

○同上ノ件

内務大臣官房庶務課照會 (明治三十二年五月十六日)

支出證明規程改正相成支出ノ證憑トシテ提出スヘキモノハ正當受取人ノ領收證書ノ外契約書請求書等添付スヘキコトニ  
相成候處右契約書等ヲ領收證書毎ニ提出スルハ不容易手數ニモ有之殊ニ正當債主ノ領收證書ヲ提出シ尙前記ノ書類ヲ添  
付スルハ重複ノ姿ニモ相成候ニ付相互ノ手數省略ノ爲メ正當領收證書提出ノ場合ニ於テハ請求書ノ添付ヲ省略シ金庫ノ  
領收證書ヲ以テ證明スル場合ニハ請求書又ハ説明書ヲ付シ説明シ又契約書ニ就テハ五百圓以上ノ競争契約若クハ五百圓以  
上ノ隨意契約ノ場合ニ限り提出候コトニ致度

會計検査院第二部 回答(明治三十二年五月二十二日)  
來意ノ通ニテ差支無之候

第六條 證憑書ハ原本ニ限ル若シ原本ヲ提出シ難キ場合ニ在リテハ當該官吏ノ保證アル謄本ニ其事由ヲ付記シ之ヲ提出スヘシ

外國語ヲ以テ記載シタル證憑書ニハ其譯文ヲ付スヘシ

第七條 俸給其他一定ノ給與ニシテ其給額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其事由及年月日ヲ證憑書ニ付記スヘシ

文官ノ新任者再任者轉任者ニ係ル俸給又ハ退官賜金ノ證憑書ニハ其履歷書新任者ニ對シテハ其任官資格ヲ認ムヘキ書類ヲ添付スヘシ

恩賞諸祿ノ繼續支給ニ係ルモノハ其年額及受領者ノ舊官名ヲ示シ又遺族ノ受領ニ係ルモノハ其權利ノ起因ヲ證憑書ニ付記スヘシ

俸給其他ノ支給ニシテ其規定ノ期限ニ依ラサルモノアルトキハ其事由ヲ證憑書ニ付記シ轉任退官死亡等ニ由リ支給ヲ止メタルモノアルトキハ之ヲ報告スヘシ

第八條 旅費ノ領收證書若クハ精算證書ニハ其用務及旅行ノ日數年月日里程宿泊場所ヲ詳記シタル明細書ヲ添付スヘシ但領收證書又ハ精算證書ニ付記シテ明細書ヲ省クコトヲ得

旅行中迂路ヲ經過セシモノ又ハ病氣滯在其他ノ事故ニ由リ特ニ日數ヲ要シタルモノ若クハ旅費ノ實費拂又ハ割増ヲ爲シタルモノアルトキハ當該上官ノ認許書ヲ提出スヘシ

第九條 競争契約ニ依リタル五百圓以上ノ工事及物件ノ購買借入ニ關スル證憑書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

一 工事又ハ物件ノ購買借入ニ關スル決議書類

二 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但其公告方法ヲ付記スヘシ

三 豫定價格調書但其算出ノ基ク所ヲ示スヘシ

四 一番札ヨリ五番札ニ至ル入札書

競争ノ落札者請負又ハ購買借入ノ契約ヲ結ハスシテ更ニ競争ヲ行ヒタル場合ニ在リテハ尙前記ノ競争ニ關スル前項ノ書類ヲ其證憑書ニ添付スヘシ

第十條 隨意契約ニ依リタル五百圓以上ノ工事及物件ノ購買借入ニ關スル證憑書ニハ其決議書類及競争契約ニ依ラサリシ理由ヲ詳記シタル説明書ヲ添付スヘシ

工事又ハ物件ノ購買借入ニシテ競争ニ付スルモノ入札者ナキトキ又ハ再度ノ入札ニ付スルモノ豫定價格ノ制限ニ達セスシテ隨意契約ヲ爲シタルモノハ其事由ヲ付記シ第九條ニ規定シタル書類ヲ提出スヘシ

○同規程第十條中疑義ノ件

千住製紙所照會 (明治三十二年五月二十二日)

本年會計検査院第一號支出證明規程ノ條ニ付左ノ件々及御問合候

第十條第一項ニ隨意契約ニ依リタル五百圓以上ノ工事及物件ノ購買借入ニ關スル證憑書ニハ其決議書類ヲ添付スヘシト有之然ルニ當所製紙材料即チ羊毛染料油紙耳糸裝針帶等特種ノ物質ナルヲ以テ當時隨意契約ナシ其金額五百圓以上ニ至ルモ別ニ決議書類等無之ニ付右等ノ如キハ特ニ之ヲ調製提出スルニ及ハサル義ト心得可然哉

會計検査院部長回答 (明治三十二年六月九日)

第一項決議書類トハ物件ノ購買借入ニ關スル何指令又ハ認許證其他何等ノ名義ヲ問ハス苟モ購買借入ヲ決定セラレタル書類ヲ指シタルモノニシテ特種ノ物質タルト否ラザルトニ拘ラス總テ提出ヲ要ス尤モ當時使用ニ關スル同一品種ニ關シテハ初度證明ノ月ニ於テ之ヲ提出シ爾後ハ證書ニ何月分證明何號ト同一ノ事由ナル旨附記セラレ差支無之ト存候

第十一條 五百圓以上ノ工事及物件ノ購買借入ニ關スル契約ニシテ其締結後變更解除又ハ違約處

分ヲ爲シタルモノハ決議書及其關係書類ヲ證憑書ニ添付スヘシ

第十二條 五百圓以上ノ工事ニ關スル證憑書ニハ會計規則第六十七條第一項ニ依リ監督官吏若クハ技術者ノ作リタル調書ヲ添付スヘシ

工事ノ既濟部分又ハ物品ノ既納部分ニ對シ完濟前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂ヒタルモノハ其證憑書ニ會計規則第六十七條第二項ニ依リ検査官吏ノ作リタル調書ヲ添付スヘシ

第十三條 總價格千圓以上ノ直營事業ニ關スル最初支出ノ證憑書ニハ其設計書仕譯書設計圖面及其附屬書類ヲ添付スヘシ但繼續事業ニシテ特ニ毎年度設計書ヲ調製スルモノハ其年度最初支出ノ證憑書ニ之ヲ添付スヘシ

專業竣功シタルトキハ竣功明細書ヲ調製シテ其最終支出ノ證憑書ニ添付シ若シ設計ヲ變更シタルトキハ其變更設計書類ヲ添付スヘシ但繼續事業ニ係ルトキハ當該年度内ニ於ケル既濟ノ部分ニ就テ竣功明細書ヲ調製スヘシ竣功明細書ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

○支出證明規程第十三條適用之件

通信局照會 (明治三十二年六月二十二日)

支出證明規程第十三條ニ總價格千圓以上ノ直營事業ニ關スル最初支出ノ證憑書類ニハ其設計書仕譯書圖面及其附屬書類ヲ添付スヘシ云々ト有之當省ニ於テ直營スル電信電話事業ニシテ歲出臨時部ニ關スル増設新設及改築等ノ工事費ハ該條項ニ據ルトキハ勿論ニ有之候ヘトモ歲出經常部ニ關スル電信電話線及電信電話機等既設ノ分維持即チ保守ノ如キハ總費額千圓以上ニ登リ候ヘトモ右ハ既設線路及器械ニ損傷ナキ様之ヲ保護シ若シ損傷アルトキハ隨時修補スルモノニシテ電信電話工夫職工入夫ノ給料電柱器具材料費雜費等ヨリ成立チ器具材料ノ如キハ既往ノ實數ヲ標準トシ年度始ニ於テ購入シ之ヲ保守執行局ニ配付シ其局ニ於テ其配付品及自局購入品ヲ使用シ常時保護及修補ヲ爲スモノニシテ是ヲ細別シ甲種修築、乙種修築、碍子掃除及尋常保守等ノ名目ヲ付シ執行候ヘトモ總テ初ヨリ設計書仕譯書圖面等ヲ調製スルヲ得サルモノニ有之候條經常費支辨ニ係ル電信電話維持事業ハ右第十三條ノ範圍外ト致シ度

會計検査院回答 (七月)

電信電話保守事業ニ付テハニ工事額千圓以上ノモノハ同規程第十三條ニ準據シ竣功明細書提出可相成義ト御承知相成度

○支出證明規程中疑義ノ件

遞信省通信局照會 (明治三十四年三月二十日)

貴院第一號支出證明規程第十三條總價格千圓以上ノ直營事業云々トアルハ仕拂額金千圓以上ノ工事ヲ云フモノニシテ無代價使用物品ノ價格ヲ加ヘテ一廉金千圓以上トナル如キモノナクモ云フ義ニ無之哉

會計検査院回答 (四月一日)

總價格ハ無代價使用ノ物品價格ヲモ算入致候義ト御承知相成度

第十四條 工事ニ其工費豫算ヨリ代價ヲ支辨セスシテ物品又ハ勞力ヲ使用シタルトキハ其種類及見積價格ヲ記載シタル明細書ヲ證憑書ニ添付スヘシ但證憑書ニ付記シテ明細書ヲ省クコトヲ得

第十五條 物件ノ購買又ハ賠償ニ關スル證憑書ニハ其名稱種類品位數量及單價ヲ明示シ該物件所要ノ目的ヲ付記スヘシ

○同第十五條中疑義ノ件

海軍省經理局照會 (明治三十二年五月二十三日)

支出證明規程第十五條第二項ニ依リハ物品購買ノ證憑書ニハ實際ノ如何ニ拘ラス物品出納簿ニ登記濟ノ年月日ヲ記載スヘキモノノ如クナルモ出張員其用務ニ必要ナル物品出先キニ於テ購買消費セルモノ、如キ又ハ接待費ニ於ケル飲食物ノ如キ患者費ニ於ケル氷等ノ如キ購買直チニ消費スルモノノ如キハ從前ノ通物品出納簿ニ登記セサル旨ヲ掲載ノ積リ右及御照會候至急御報願シ度候也

會計検査院長回答 (明治三十二年六月一日)

物品購買ノ證憑書ニハ總テ物品出納簿ニ登記濟ノ年月日ヲ附記スルヲ原則トス但シ實際其登記ヲ爲シ難キモノニ在テハ其

事由ヲ附記スヘシ

第十六條 諸拂戻ノ證憑書ニハ其支出ヲ要スル事實ノ生シタル年月日及支出ノ請求ヲ爲シタル年月日ヲ付記スヘシ

第十七條 誤拂過渡其他ノ返納ニ由リ歳入ニ納付シタルモノハ歳入ノ徵收ヲ監督スル官吏若クハ當該金庫ノ保證書ヲ提出スヘシ

第十八條 證憑書ハ豫算各目ニ區分編纂シテ其金額紙數ヲ表紙ニ記載シ概算渡ニ係ルモノアルトキハ其金額ヲ付記スヘシ但金庫ノ領收證書ニシテ各目ニ區分シ難キモノハ其關係書類ト共ニ各項ニ區分編纂シ各目仕譯書ヲ添付スヘシ

概算渡ニ對スル精算證書ハ其概算渡ヲ爲シタル月ヲ以テ區分スヘシ  
證憑書ノ編纂ニ關シ特ニ區分ヲ要スルモノハ別ニ之ヲ指定ス

附則

第十九條 本規程ハ明治三十二年度ヨリ施行ス

作業及鐵道會計支出證明規程官立學校及圖書館會計支出證明規程鎮守府造船材料資金會計支出證明規程官設鐵道用品資金會計支出證明規程葉煙草專賣資金會計支出證明規程及明治二十七年會計検査院達第二十五號明治三十一年會計検査院達第四號ハ同明治三十一年度限り廢止ス

(別記)

明 治 何 年 度
何 年 何 月
歲 出 經 常 部
何々(款) 何々(款)
歲 出 臨 時 部
何々(款) 何々(款)
支 出 計 算 書

證 憑 書 何 冊
何 々 々

一 計算書ヲ受授スルモノハ其年月日ヲ表紙ニ記載スヘシ  
 一 計算書ノ用紙ハ鑿沙引厚質美濃紙ニツ折テ用ヒ左側ニ曲尺一寸余ノ綴代ヲ存スヘシ  
 一 計算書ハ改描塗抹ヲ禁ス若シ誤記脱字等ニテ訂正ヲ爲シタルトキハ二線橫畫ヲ主任官吏之ニ捺印スヘシ

名 廳

總括

減	計	摘要	仕拂命令額 (仕拂請求書發行済額)		仕拂豫算額 (豫算残額)		計	備考
			円	銭	厘	円		
		經常部						
		何々(款)						
0	0	何々(目)	0		0		0	
0	0	何々々	0		0		0	
0	0	何々々	0		0		0	
0	0	計	0		0		0	
		何々々						
0	0	何々々	0		0		0	
0	0	何々々	0		0		0	
0	0	計	0		0		0	
0	0	合計	0		0		0	
		臨時部						
		經常部ニ同シ						

○此總括ハ最終證明ノ月ニ於テ提出スヘシ

仕拂命令済額  
(仕拂請求書發行済額)

摘要	前月迄命令額 (前月請求額)		本月命令額 (本月請求額)		本月戻入額		計	備考	仕拂豫算額 (豫算額)		増	
	円	銭	厘	円	銭	厘			円	銭		厘
經常部												
何々(款)												
何々(項)									0		0	
何々(目)	0			0			0		0		0	
何々々	0			0			0		0		0	
何々々	0			0			0		0		0	
計	0			0			0		0		0	
何々々									0		0	
何々々	0			0			0		0		0	
何々々	0			0			0		0		0	
計	0			0			0		0		0	
合計	0			0			0		0		0	





科目更正 定額戻入 歳入納附		金額	
摘要		円	銭
<b>科目更正</b>			
<b>職費</b>			
<b>通信運搬費</b>			
何月分仕拂命令第何號何某渡金若干圓何科目ヲ以テ整理ノ處何々ニヨリ本科目ニ更正セリ			
計		0	
<b>定額戻入</b>			
<b>俸給及諸給</b>			
<b>委任俸給</b>			
何月分仕拂命令第何號何官何級何某渡ノ内何月日何廳何官ニ轉任セシニ付何月分俸給過渡返納ノ分定額へ戻入セリ			
計		0	
<b>歳入納附</b>			
<b>雜給及雜費</b>			
<b>備入料</b>			
何月分仕拂命令第何號何某渡ノ内何々ニヨリ誤拂チナシタルニ付何年度歳入トシテ納附セリ別紙證書第何號ノ如シ		0	
何月分仕拂命令第何號何某渡ノ内同上		0	
計		0	
<b>過年度支出</b>			
<b>旅費</b>			
<b>内國旅費</b>			
何年度何月分仕拂命令第何號何某渡旅費何々ニヨリ支給不足ノ分本年度ニ於テ支出ヲ要シタルモノナリ			
計		0	

何々概算渡内譯		精算額					未精算額	備考	
摘要	概算渡額	仕拂額		戻入額		計			
		円	銭	円	銭	円			銭
三十二年四月分	100,000	0	0	0	0	0	100,000		
ク 五月分	50,000	40,000	10,000	0	0	50,000	0		
ク 六月分	50,000	0	50,000	0	0	50,000	0		
ク 七月分	50,000	50,000	0	0	0	50,000	0		
ク 八月分	50,000	30,000	10,000	0	0	40,000	10,000		
計	300,000	120,000	70,000	0	0	190,000	110,000		
			(渡月分ノ例)						
三十二年四月分	100,000	50,000	10,000	10,000	70,000	30,000			
ク 八月分	10,000	0	0	0	0	10,000			
ク 九月份	90,000	20,000	10,000	0	30,000	60,000			
計	200,000	70,000	20,000	10,000	100,000	100,000			

過年度支出 内譯

摘要	金額	
	円	匁
<p>○特別會計ニシテ前年度ヨリ繰越シタル支出未済額(支出殘額)ヲ支出シタルトキハ特ニ其前年度支出未済額支出(支出殘額支出)ノ題目ヲ設ケテ其科目金額事由ヲ記載スヘシ</p> <p>○事ノ複雜ニ涉ルトキハ科目及合計金額ノミヲ掲記シ別ニ事由明細書ヲ添付スルコトヲ得</p>		

明治何年度何年何月支出計算證

明候也

官職氏名印

會計検査院長宛

年 月 日

○證書整理方法及支出計算書調製上疑義ノ件

第八師團監督部照會 (明治三十二年五月十八日)

今般選第一號ヲ以テ支出證明規程改正相成候處證書整理及支出計算書調製上左ノ件々疑義ニ涉リ候ニ付何分ノ御回答相願ハシ度

- 一 改正證明規程中現金領收證書整理ノ件ハ悉皆削除セラレ様式中ニモ未到途内譯無之就テハ現金領收證書ハ仕拂命令官ニ於テ整理セズ金庫ノ整理ニ屬スル義ニ候哉
  - 二 證書ノ編纂ハ従前ノ通各目中ニ豫算管理廳ヲ區分シ編纂スル義ナルヤ
  - 三 現金前渡仕拂命令濟額摘要ノ様式ハ二十七年二月陸軍省經理局第一課長ヨリ貴院へ照會ノ通款項ヲ冒頭ニ掲ケ其下ニ出納官吏官氏名ヲ別記シ可然哉
  - 四 陸軍召集旅費ニ係ル現金前渡仕拂命令濟額ハ二十七年五月陸軍省經理局長ヨリ貴院部長へ照會セラレタル通款人ノ金額ヲ併算シ「何誰外何名(召集旅費ニ係ル分)」ト掲記シ證明シ可然哉
- 會計検査院部長回答 (明治三十二年六月八日)
- 總テ御來意ノ通處理相成可然

○支出計算書調製上疑義ノ件

山梨縣照會 (明治三十二年五月十九日)

支出計算書ハ各款又ハ一所管廳經費毎ニ別冊ニ調製スヘキヤ或ハ所管廳ノ如何ヲ問ハス總テ一冊ニ調製スヘキヤ若宋段見解ノ如シトセハ繰入繰出總額算ノ順序ニ據リ掲記スヘキヤ

右客月分計算書調製ニ在リ疑義相生シ候間折返シ御回答相成度

會計検査院部長回答 (明治三十二年六月五日)

大藏省所管及内務省所管ノ内國休補助ノ證明ヲ要スル補助金支出ノ分ヲ除クノ外一所管毎ニ各款ヲ通シ調製相成可然候

○改正支出證明規程中疑義問答 (明治三十二年五月廿三日公報)

問 規程第四條

一項

答

- 一 物件ノ購買ニシテ其ノ事ノ完了ニ至ラサルモノトハ如何ナル場合ナルヤ
- 二項中
- 一 過誤拂チ報告スルハ年度後五ヶ年内ニ限ルヤ
- 一 科目違ハ更正シ得ル期限即チ翌年度七月三十一日迄ニ發見シタルモノカ將タ支出年度後無期限ニテ報告スル義務カ
- 三項
- 一 科目違ニ對スル證據書ハ如何ナルモノヲ指スカ
- 二項中
- 一 轉任者中ニハ通信書記ノ遞信部内甲乙兩廳間ノ轉勤モ包含スルヤ
- 一 履歷書ニテ資格明瞭ナルモノ(通信技術員ノ養成規則ニ依リ修業シタル者其修業證書ノ全部ヲ記載シタルモノノ類)ハ資格ヲ認ムヘキ書類ヲ省略シ得ルヤ
- 四項
- 一 報告スヘキモノハ列任官以上ニシテ轉任退官死亡ノ事故ニヨリ支給停止メタルモノノミ發令又ハ死亡ノ當月支出計算書ニ添付報告スヘキヤ
- 又ハ從前ノ通増減トモ報告スヘキヤ
- 同第十五條
- 一 賠償ニ關スル證據書ニ付記スル所要ノ目的ハ如何ナルモノカ
- 同第十八條中
- 一 概算領收證書ハ通常領收證書中ヘ併載シ其金額ヲ表紙高
- 一 軍艦等前金拂ニ對スルモノナリ
- 一 無期限
- 一 決算検査確定後ハ報告ヲ要セス(決算検査確定ノ時期ハ検査報告ヲ政府ヘ提出ノトキ)
- 一 過誤拂等ニ對スルモノヲ云フ義ニシテ無之モノハ含まス
- 一 轉任ハ任官ノ意味ニテ轉勤ハ此限ニアラス
- 一 履歷書ニテ資格明カナルモノハ資格證明書ヲ要セス
- 一 雜給支辨ニ係ル履歷ハ不必要ナレトモ其他ハ從前ノ通り
- 一 損害賠償ニアラス業煙草賠償ノ如キモノヲ云フ
- 一 從前ノ通り別冊トナス方調査上便利ナリ

明治三十三年二月十四日  
本項變更  
(第一五七頁參看)

- 金ノ内書ニ付記スルヤ
- 一 前渡金領收證書ノ編纂方別ニ明文ナシ如何スヘキヤ
- 一 金庫領收證書目ニ區分シ得ラル、モノハ正當領收證書中ニ合併スヘキヤ
- 一 金庫領收證書ニシテ各目ニ區分シ難キモノハ項表紙ノ次ニ各目仕附書ヲ挿入シ請求書等ノ關係書ハ金庫領收證書一枚毎ト目ノ順ニ添付編纂スルヤ但請求書ニハ總テ科目印(目)ノ押捺ヲ要スルヤ
- 一 枚數僅少ノ證書ハ各自合冊スルヲ得ルヤ
- 一 證據書ノ編纂ニ關シ特ニ區分ヲ要スルモノハ此際達示セラルヤ
- 一 金庫ノ領收證書ヲ別冊トナシタルトキハ其目金額ヲ通常領收證書ノ表紙ニ付記スヘキヤ
- 同第十七條
- 一 延滞償金等契約保證金ニテ引去リ餘リアルモノハ違約處分中ト雖トモ仕拂ヲ完了スルコトアリ此場合ハ違約金等ハ保證金ノ内ニテ引足ルヘキ旨付記スヘキヤ
- 外ニ
- 一 領收證書ヲ得難キモノ(郵便切手代ノ類)ノ支出證明方ハ從前ノ通ナルヤ
- 一 購入直ニ消費スルモノハ物品出納簿ニ登記セサル旨附記ヲ要スルヤ
- 一 俸給ノ如キ從來本人ノ請求書ヲ待タズ送金セルモノハ規程第五條ノ請求書ナキヲ以テ本人ノ俸給氏名等記載シ添
- 一 從前ノ通り
- 一 御見込ノ通り
- 一 御見込ノ通ニテ可然
- 一 從前ノ通り
- 一 特ニ通達ナキモノハ規程ノ通ニテ可ナリ
- 一 是迄ノ未到證據書ノ如ク付記スル方然ルヘシ
- 一 證明ノ際未決ナレハ其旨付記シ證キ決定後關係書類ノ提出ヲ要ス
- 一 仕拂證明ニテ可ナリ
- 一 從前ノ通
- 一 支出ノ所由及計算ノ基ク所ヲ示シタル調査ノ類ヲ提出シテ可ナリ

付差支ナキヤ

一 旅費概算渡ニシテ地方在勤者等へ送金ノモノハ旅行ノ日  
 數順路里程等出張命令ノ指定ニ依リ察知スルヲ以テ本人  
 ノ請求ヲ待タズシテ支出シ來レハ是又請求書ナキヲ以テ  
 別ニ仕拂書ヲ作り添付差支ナキヤ

一 規定第十三條ノ設計書仕譯書設計圖面及其附屬書類ハ前  
 渡金ヲ以テ直營スル事業ニ對シテハ前渡官吏ヨリ提出ス  
 ルヲ以テ仕拂命令官ハ前渡官吏ノ領收書ノミ提出シ可然  
 哉

一同上

一然

一 仕拂命令官ト前渡官吏ト雙方ヨリ支出シ相待テ事業ヲ完  
 成スルモノハ第十三條ノ書類ハ何レカ共一方ヨリ提出シ  
 他ハ證據書ニ其旨附記スルノミニテ可ナルヤ

一 仕拂命令官ヨリ提出アリタシ

○俸給諸給仕拂高各節區分表提出ニ及ハサル件

計理部長ヨリ各仕拂官吏へ通牒 (明治三十二年六月三日 設計出發第一二五號ノ一)  
 令般會計検査院達第一號ニテ支出證明規程改正相成候ニ付テハ從來毎月御提出相成候各俸給及諸給仕拂高各節區分表ハ  
 自今御提出ニ不及候此段及御照會候也

○設計書仕譯書等取纏メ提出方ノ件

長官ヨリ會計検査院長へ照會 (明治三十二年五月廿四日 鐵作乙第一四七七號)  
 支出證明規程及仕拂證明規程今般改正相成候處總價格格以上ノ直營事業ニ關スル設計書仕譯書設計圖面及附屬書類ニ  
 其竣功明細書ハ仕拂命令官及現金前渡官吏ヨリ各其取扱仕拂ニ對スル分チ提出可致様相成居候處當局ノ仕拂振ハ一事業  
 ニ關スル經費ニシテ仕拂命令官及現金前渡官吏ノ兩者ヨリ仕拂ニ相成候モノ有之候ニ付右書類ハ現金前渡官吏ヨリハ提  
 出セス總テ仕拂命令官ニ於テ取纏メ提出致度此段及御照會候也

大野會計検査院部長回答 (明治三十二年六月七日 送第六三〇號)

支出計算書又ハ仕拂計算書ニ添付スヘキ直營事業ニ關スル設計書仕譯書圖面及付屬書類并ニ竣功明細書提出方ノ件ニ付  
 鐵作第一四七七號付本院長宛御照會ノ趣了承右ハ御來意ノ通ニテ可然此段及御回答候也

追テ竣功明細書中現金前渡官吏ニ於テ仕拂ヲ爲シタルモノアルトキハ其金額并出納事務所及仕拂官吏ノ氏名チ一工事  
 毎ニ備考ニ付記相成度候也

○全上ニ關スル件

長官ヨリ大野會計検査院部長へ照會 (明治三十二年七月十一日 鐵作乙第二〇三六號)  
 支出計算書又ハ仕拂計算書ニ添付スヘキ直營工事ニ關スル設計書仕譯書并ニ竣功明細書等仕拂命令官ニ於テ取纏メ提出  
 方ノ儀ニ付鐵作乙第一四七七號照會ニ對シテ送第六三〇號御回答ノ趣了承然ルニ竣功明細書中現金前渡官吏ニ於テ仕拂  
 ルモノアルトキハ其金額出納事務所及仕拂官吏氏名チ一工事毎ニ備考ニ記載致候様御追書御申越相成候處右ニ付過日主  
 任者ヲ以テ御内職致候次第モ有之候ニ付材料費ノ分ハ材料受拂表中本年度受入ノミニ對シテ記載シ又建設若クハ改良工  
 事ノ如キ毎年度全部ノ竣功明細書ヲ提出スルモノハ記載ヲ要セザル事ニ致度此段及御照會候也

大野會計検査院部長回答 (明治三十二年八月三日 送第九一七號)

竣功明細書中現金前渡官吏ニ於テ仕拂タルモノアルトキハ其金額等備考ニ記載方作業費所屬材料費ノ分ハ材料受拂表中  
 本年度受入ノミニ對シテ記載シ建設改良工事ノ如キ毎年度全部ノ竣功明細書提出ノモノハ省畧云々鐵作乙第二〇三六號付  
 御照會ノ趣了承右ハ來意ノ通り御取計可然存候此段及御回答候也

追テ作業費所屬工費ニ對シテハ鐵作乙第二〇三六號御照會ノ趣了承右ハ來意ノ通り御取計可然存候此段及御回答候也

○工事請負豫定價格ニ對スル内譯書ノ件

工務部長商議 (明治三十二年八月二日 鐵工第一四九六號)  
 支出證明規程并ニ仕拂證明規程改正相成候ニ就テハ右證據書類トシテ添付スヘキ必要書類ノ内競争入札ニ係ル工事請負  
 豫定價格ニ對スル内譯書別紙様式ノ通ニテ差支有之間敷此段及御商議候也

計理部長回答 (明治三十二年八月七日 設計出發第二七八號ノ一)  
 支出及仕拂ノ證明上ニ要スル書類中競争入札ニ係ル工事請負豫定價格ニ對スル内譯書ノ件ニ付商議相成候處右ハ御來意  
 ノ通ニテ可然ト存候此段及御回報候也

何線何驛停車場本家其他新設工事費豫定價格下調書

名	稱	坪	數	一坪ノ費額	金額
何驛停車場本家		若	干	坪	若
上ノ線旅客待合所		若	干	坪	若
下ノ線旅客待合所		若	干	坪	若
上旅客便所		若	干	坪	若
下旅客便所		若	干	坪	若
計					

何線自何哩何鐵間築堤並土留、石垣新設工事其他工事費豫定價格下調書

名	稱	坪	數	一坪ノ費額	金額
何々間築堤		若	干	坪	若
何々間土留、石垣		若	干	坪	若
計					

何々

名	稱	坪	數	一坪ノ費額	金額
何々		若	干	坪	若
計					

右ノ通ニ有之候也

年月日

長官宛

工務部長

○仕譯書々式ノ件

工務部長照會（明治三十二年九月八日 鐵工第一七一五號）

支出證明規程第十三條及仕譯證明規程第十二條ノ仕譯書ハ別紙様式ノ通ニシテ可然ト存候得共爲念及御照會候也

何々線自何哩何鐵間築堤並土留、石垣新設工事

仕譯書

一金何圓

何々費支辨

内譯 金何圓

何々費

金何圓

工 材 料 費

金何圓

工 材 料 費

内 金何圓

何々費

金何圓

工 材 料 費

内 金何圓

何々費

金何圓

何々費

右之通

年月日

計理部長回答 (明治三十二年九月廿日 鐵計出發第三五九號ノ一)  
鐵工第一七一五號ヲ以テ仕譯書々式ノ儀ニ付御照會ノ趣了承改良費ハ別紙甲式作業費ハ乙式ノ通りニテ可然被存候此段  
及御回答候也

追テ右仕譯書ノ義ニ付テハ將來會計檢査院ヨリ詳細ノ内譯記帳方照會越候哉モ難計點モ有之候ニ付環々差支ナキ様御  
取計置相成候様致度爲念申添候也

甲式

何々間鐵道何處起點 自何哩何續 至何哩何續 何々其他工事(又ハ何工事)仕譯書

一金何圓

總 環 算 額

金何圓

自何哩何續 何々工事 至何哩何續

金何圓

工 物 品 費

金何圓

工 物 品 費

金何圓

工 物 品 費

金何圓

何處何工事 費

金何圓

工 物 品 費

金何圓

工 物 品 費

金何圓

工 物 品 費

金何圓

工 物 品 費

金何圓

工 物 品 費

金何圓

工 物 品 費

金何圓

何 費

金何圓

何 費

右之通 年月日

乙式

何々(工事名)工事仕譯書

一金何圓

何々費(保存費又ハ補充費)

内

金何圓

工 物 品 費

金何圓

工 物 品 費

金何圓

工 物 品 費

右之通

年月日

何處 保線事務所長 出張所長

何處 事務所長 出張所長

○證憑書ニ公告ノ方法付記方省畧ノ件

當局仕拂命令官照會 (明治三十二年十一月三十日 鐵計出發第五四二號ノ一)  
支出及仕拂證明ノ爲メ提出スル證憑書中會計規則第七十四條ニ基キタル公告書ニハ其公告ノ方法ヲ附記スヘキ儀ニ有之  
候處當局ニ於テ右公告方ハ總テ官報ニ掲載スル事ニ致居尙東京發行ニ係ル左記新聞紙中一種以上八種マテニ其地方ニ關  
係アルモノハ該地方新聞紙ノ一種以上ニ掲載シ揭示アル分ハ更ニ該揭示場ニ揭示スル事ニ相成居候ニ付右公告書ニ每  
回附記スル儀省略致度候間御了承相成度此段及御照會候也

東京日々新聞 毎日新聞

中外商業新報 時事新報  
讀報新報 國民新聞  
報知新聞 中央新聞

大野會計検査部長回答 (明治三十二年十二月十二日 送第五六號)

支出及仕拂證明ノ爲メ提出ノ證據書中會計規則第七十四條ニ基キタル公告書ニ其公告ノ方法付記方書ノ件ニ付設計出發第五四一號ノ一ヲ以テ本院長(御前會)趣ハ來意ノ通ニテ差支無之候此段本官ヨリ及御回答候也

○支出證明上ニ係ル件

公報第二四八五號掲載 (明治三十三年二月十四日)

一 改正支出證明規程ハ落札者ノ資格ニ關スル證明書ハ總テ提出ヲ要セサル趣旨ニ付明治三十一年八月監庶乙第二七一六號元監査局長通牒ノ證明書ハ提出ヲ要セス

一金庫領收證書ニシテ各目ニ區分シ難キモノ、編纂順序ハ第一各目仕譯書一葉第二金庫領收證書若干葉第三目ノ順次ニ區分シタル請求書等ノ關係書類トシテ目區分ノ爲メニ挿入セシ紙面ニハ其金額ノ記載ヲ要ス (明治三十二年五月廿三日公報掲載改正支出證明規程疑義問合中變更)

(參照)

監庶乙第二七一六號

工專及物品供給ノ競争者ニ對シテ各省令ヲ以テ定メタル資格ノ證明書ハ支出證明上提出セサル向モ有之候處右ハ調査上必要ニ付落札者ノ分ニ限リ會計規則第六十九條ノ資格證明書ト共ニ其契約書ニ添付相成度此段及御通牒候也

明治三十一年八月十日

監査局長 大 越 成 徳

鐵道作業局計理部長關師民嘉殿

◎仕拂證明規程 明治三十二年五月十三日

會計規則又ハ各特別會計規則ニ依リ現金前渡ヲ受ケタル官吏ノ調製スヘキ仕拂計算書ハ

第一條 會計規則又ハ各特別會計規則ニ依リ現金前渡ヲ受ケタル官吏ノ調製スヘキ仕拂計算書ハ

別記書式ニ據ルヘシ

第二條 左ノ事項ハ仕拂計算書ノ備考ニ記載スヘシ

但事ノ複雜ニ涉ルモノハ説明書ヲ添付スヘシ

- 一 科目更正ヲ爲スヘキモノ又ハ爲シタルモノアルトキハ其金額事由
- 二 誤拂過渡ニシテ其處分ヲ爲スヘキモノ又ハ爲シタルモノアルトキハ其金額事由
- 三 過年度ニ屬スル經費ノ仕拂ヲ爲シタルモノアルトキハ其金額事由
- 四 缺損補填ヲ受ケタルモノアルトキハ其金額事由
- 五 會計規則第八十八條ニ依リ辨償ヲ命セラレタルモノアルトキハ其金額事由
- 六 他ノ出納官吏ト現金ノ受授ヲ爲シタルモノアルトキハ其金額事由
- 七 領收證書ノ未到達ニ係ルモノアルトキハ其金額
- 八 金庫ニ義務委託ヲ爲シタル金額並拂込月日及其月末殘額

第三條 最終仕拂計算書提出ノ際概算渡ノ精算ニ至ラサルモノ前金拂ニ係ル製造又ハ物件ノ購買

ニシテ其事ノ完了ニ至ラサルモノ領收證書ノ到達セサルモノ仕拂殘額ノ返納ヲ了セサルモノ及誤拂過渡科目違ノ處分未済ニ係ルモノアルトキハ其事由及完結期限ヲ記載シタル調書ヲ添付スヘシ最終仕拂計算書提出ノ後誤拂過渡科目違ヲ發見シタルトキハ其都度之ヲ報告スヘシ

前二項ノ各事項ハ處分完結ニ隨ヒ其證據書ヲ添ヘ之ヲ報告スヘシ  
第四條 仕拂ノ證據トシテ提出スヘキモノハ正當受取人ノ領收證書工事又ハ物件ノ購買借入ニ關スル契約書其他仕拂ノ所由並計算ノ基ク所ヲ證明スヘキ書類トス但事ノ複雜ニ涉ルモノハ明細書若クハ説明書ヲ添付シ又臨時特殊ニ係ル事項ハ當該長官ノ命令書若クハ決議書等ヲ添付スヘシ

正當受取人ノ領收證書ヲ得難キ場合ニ在リテハ其事由ヲ付記シタル仕拂書ニ當該上官ノ認定ヲ受ケ之ヲ提出スヘシ  
領收證書及仕拂書ニハ番號ヲ付スヘシ

○土地收用法ニ依リ收用地補償金ヲ地方廳ニ預入ントスル場合ニ於テ徵スヘキ證書ニ關スル件

八王子出納事務所主任出納官吏何 (明治三十三年二月二日 八支第三七號)  
一 土地收用法第二十三條第二項ニヨリ收用地補償金ヲ地方廳ニ預入ントスル場合ニハ地方長官ノ預證書ヲ徵ス可キヤ  
或ハ徵入歳出外現金出納官吏ノ預證書ヲ徵ス可キヤ  
一 前項ニヨリ補償金ヲ地方廳ニ預入レタル場合ニハ仕拂證書ハ仕拂證明規程第四條第二項ノ仕拂書ヲ以テ之レニ充ツ  
ヘキヤ或ハ地方廳ノ預證書ヲ正當受取人ノ領收證書ニ代ヘ提出ス可キヤ  
右二項相伺候也

計理部長告示 (明治三十三年二月十六日)

本月二日八支第三七號何ノ件ハ地方廳徵入歳出外現金出納官吏ノ領收證書ヲ徵シ之ニ其ノ補償金算出ノ基ク處ノ仕拂書  
非ニ地方廳へ預入レテ爲スヘキ決議書ヲ添付シ仕拂證明スル義ト心得ラルヘシ

○仕拂上正當債主ト認ムヘキヤ否ノ件

八代出納事務所高木仕拂官吏何 (明治三十三年九月廿九日代計出發第一二號)

赴任又ハ出張ノ途中携帶御用荷物運送スルノ必要ヲ生シ運送店へ托シ之レカ運送ヲナサシメ正當領收證書ヲ徵シ一時繰  
替拂ヲ以テ處辨シ替任又ハ歸郷ノ上其領收證書ヲ添付シ該官吏ヨリ代金請求セシ場合ハ之ヲ正當債主ト爲シ仕拂了シ  
可然哉他ニ類例モ無之疑義ヲ生シ候條至急何分ノ義御指揮ヲ仰候也

計理部長告示 (明治三十三年十月三日 鐵計檢發第八六八號ノ一)

代計出發第十二號何ノ件ノ意見ノ通但シ荷物携帶ヲ要スル理由書ヲ添付セシムヘシ  
右及告示候也

第五條 證憑書ハ原本ニ限ル若シ原本ヲ提出シ難キ場合ニ在リテハ當該官吏ノ保證アル謄本ニ其事由ヲ附記シ之ヲ提出スヘシ

外國語ヲ以テ記載シタル證憑書ニハ其譯文ヲ付スヘシ

第六條 俸給其他一定ノ給與ニシテ其給額ニ異動ヲ生シタルモノアルトキハ其事由及年月日ヲ證憑書ニ附記スヘシ

文官ノ新任者再任者轉任者ニ係ル俸給又ハ退官賜金ノ證憑書ニハ其履歷書新任者ニ對シテハ其任官資格ヲ認ムヘキ書類ヲ添付スヘシ

俸給其他ノ支給ニシテ其規定ノ期限ニ依ラサルモノアルトキハ其事由ヲ證憑書ニ附記シ轉任退官死亡等ニ由リ支給ヲ止メタルモノアルトキハ之ヲ報告スヘシ

第七條 旅費ノ領收證書若クハ精算證書ニハ其用務及旅行ノ日數年月日里程宿泊場所ヲ詳記シタル明細書ヲ添付スヘシ但領收證書又ハ精算證書ニ付記シテ明細書ヲ省クコトヲ得旅行中迂路ヲ經過セシモノ又ハ病氣滯在其他ノ事故ニ由リ特ニ日數ヲ要シタルモノ若クハ旅費ノ實費拂又ハ割増ヲ爲シタルモノアルトキハ當該上官ノ認許書ヲ提出スヘシ

第八條 競争契約ニ依リタル五百圓以上ノ工事及物件ノ購買借入ニ關スル證憑書ニハ左ノ書類ヲ添付スヘシ

- 一 工事又ハ物件ノ購買借入ニ關スル決議書類
  - 二 會計規則第七十四條ニ基キタル公告書但其公告方法ヲ付記スヘシ
  - 三 豫定價格調書但其算出ノ基ク所ヲ示スヘシ
  - 四 一番札ヨリ五番札ニ至ル入札書
- 競争ノ落札者請負又ハ購買借入ノ契約ヲ結ハスシテ更ニ競争ヲ行ヒタル場合ニ在リテハ尙前回



ノ競争ニ關スル前項ノ書類ヲ其證憑書ニ添付スヘシ

第九條 隨意契約ニ依リタル五百圓以上ノ工事及物件ノ購買借入ニ關スル證憑書ニハ其決議書類及競争契約ニ依リサリシ理由ヲ詳記シタル説明書ヲ添付スヘシ

工事又ハ物件ノ購買借入ニシテ競争ニ付スルモノハ札者ヲキトキ又ハ再度ノ入札ニ付スルモノ豫定價格ノ制限ニ達セスシテ隨意契約ヲ爲シタルモノハ其事由ヲ付記シ第八條ニ規定シタル書類ヲ提出スヘシ

第十條 五百圓以上ノ工事及物件ノ購買借入ニ關スル契約ニシテ其締結後變更解除又ハ違約處分ヲ爲シタルモノハ決議書及其關係書類ヲ證憑書ニ添付スヘシ

第十一條 五百圓以上ノ工事ニ關スル證憑書ニハ會計規則第六十七條第一項ニ依リ監督官吏若クハ技術者ノ作リタル調査ヲ添付スヘシ

工事ノ既濟部分又ハ物品ノ既納部分ニ對シ完濟前ニ代價ノ一部分ヲ仕拂ヒタルモノハ其證憑書ニ會計規則第六十七條第二項ニ依リ検査官吏ノ作リタル調査ヲ添付スヘシ

第十二條 總價格千圓以上ノ直營事業ニ關スル最初仕拂ノ證憑書ニハ其設計書仕譯書設計圖面及其附屬書類ヲ添付スヘシ但繼續事業ニシテ特ニ毎年度設計書ヲ調製スルモノハ其年度最初仕拂ノ證憑書ニ之ヲ添付スヘシ

事業竣功シタルトキハ竣功明細書ヲ調製シテ其最終仕拂ノ證憑書ニ添付シ若シ設計ヲ變更シタルトキハ其變更設計書類ヲ添付スヘシ但繼續事業ニ係ルトキハ當該年度内ニ於クル既濟ノ部分ニ就テ竣功明細書ヲ調製スヘシ竣功明細書ノ様式ハ別ニ之ヲ定ム

第十三條 工事ニ其工費豫算ヨリ代價ヲ支辨セスシテ物品又ハ勞力ヲ使用シタルトキハ其種類及見積價格ヲ記載シタル明細書ヲ證憑書ニ添付スヘシ但證憑書ニ付記シテ明細書ヲ省クコトヲ

得

第十四條 物件ノ購買又ハ賠償ニ關スル證憑書ニハ其名稱種類品位數量及單價ヲ明示シ該物件所要ノ目的ヲ付記スヘシ

前項ノ證憑書ニハ官有財産簿又ハ物品出納簿ニ登記濟ノ年月日ヲ記載スヘシ但前金拂ニ係ルモノハ其事由ヲ付記スヘシ

第十五條 前渡金ヲ外國貨幣ニテ受入レタルモノ若クハ外國貨幣ニ交換シタルモノハ其爲替相場ヲ證明スヘキ書類ヲ提出スヘシ

第十六條 返納金ヲ金庫ニ拂込ミタルモノハ金庫ノ領收證書誤拂過渡其他ノ返納金ヲ受取人ヨリ歳入ニ納付セシメタルモノハ歳入ノ徴收ヲ監督スル官吏若クハ當該金庫ノ保證書ヲ提出スヘシ

官吏遺族扶助法納金ヲ收入官吏ニ拂込ミタルモノハ當該收入官吏ノ領收證書ヲ提出スヘシ

第十七條 證憑書ハ豫算各目ニ區分編纂シテ其金額紙數ヲ表紙ニ記載シ概算渡ニ係ルモノ及領收證書ノ未到達ニ係ルモノアルトキハ其金額ヲ付記スヘシ但分任出納官吏ノ取扱ニ係ル證憑書ハ之ヲ區分編纂シ其金額及官氏名ヲ表紙ニ記載スヘシ

未到達ニ係ル領收證書ノ到達シタルモノハ仕拂ノ月ヲ以テ區分スヘシ

證憑書類ノ編纂ニ關シ特ニ區分ヲ要スルモノハ別ニ之ヲ指定ス

第十八條 下検査ヲ執行スル官吏ニ於テ仕拂計算書及證憑書ヲ受ケタルトキハ十五日以内ニ下検査ヲ執行シ之ヲ提出スヘシ

第十九條 下検査書ハ仕拂計算書毎ニ調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ  
一 仕拂計算書ト現金出納簿トノ符合及殘額現存ノ保證

二 事實ニ適合セスト認定シタル事項ノ金額事由

○同第十九條ニ係ル疑義ノ件

海軍省經理局照會 (明治三十二年五月二十三日)

仕拂證明規程第十九條第一下検査官吏ニ於テ仕拂計算書ト現金出納簿ト對照調査ハ當省ノ如キ造船造兵監督會計官等在外員ノ證明ニ係ルモノ又ハ艦船乗員ノ證明ニシテ事實執行シ難キモノハ從來ノ通所屬長ニ於テ之ヲ執行シ下検査書ニ其旨ヲ申報ノ積リ

右及御照會候至急御回報願シ度候也

會計検査院部長回答 (明治三十二年六月一日)

仕拂計算書ト現金出納簿及現存金トノ對照ハ下検査ヲ執行シタル官吏ニ於テ其保證ヲ爲スヘキ義ニ有之尤モ下検査書ニ所屬長ニ於テ之ヲ執行シタル旨ヲ附記相成候モ差支無之ト存候

第二十條 審理書及答辨書ハ下検査ヲ執行スル官吏ヲ經由スヘシ

附 則

第二十一條 本規程ハ明治三十二年度ヨリ施行ス現金前渡金仕拂證明規程及明治二十七年會計検査院達第七號ハ明治三十一年度限り廢止ス

(別記)

明 治 何 年 度

---

何年何月(自何月日至何月日)

---

歲 出 經 常 部

---

何々(款) 何々(款)

---

歲 出 臨 時 部

---

何々(款) 何々(款)

---

仕 拂 計 算 書

證 憑 書 何 冊

---

何 々

廳 名

一 計算書ヲ受授スル者ハ其年月日ヲ表紙ニ記載スヘシ  
 一 計算書ノ用紙ハ變沙引厚質美濃紙ニツ折ヲ用ヒ左側ニ曲尺一寸餘ノ綴代ヲ存スヘシ  
 一 計算書ハ改竊塗抹ヲ禁ス若シ誤肥脱字等ニテ訂正ヲ爲シタルトキハ二線ヲ横畫シ主任官吏之ニ捺印スヘシ

前月送仕拂額	本月仕拂額	本月回収額	計		残 額		備 考
			円	銭	円	銭	
0	0	0	0	0	0	0	○ 交替ノトキハ前任官吏ノ計算額ヲ併算スヘシ ○ 定額ニ戻入シ又ハ歳入ニ納付スルタメ現金ヲ金庫ニ拂込ミタルモノハ本月返納額ノ區ニ掲記シ領收額ヨリ控除スヘシ ○ 仕拂證明ノ後誤拂過渡其他ノ返戻金ヲ受取人ヨリ領收シタルトキハ本月回収額ノ區ニ掲記シ仕拂額ヨリ控除スヘシ ○ 身元保證金ニ異動アリタルトキハ其事由ヲ付記スヘシ
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	

前月送領收額	本月領收額	本月返納額	計		摘 要
			円	銭	
0	0	0	0	0	經 常 部 何々(款) 何々(項) 何々(目) 何々 計 何々 何々 何々 計 合 計 臨 時 部 (經常部ニ同シ) 身元保證金 主任出納官吏何某 200.圓 分任出納官吏何某 100.圓
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	

何々概算渡内譯

摘要	概算渡額	精算額			未精算額	備考
		仕拂額	回收額	計		
三十二年四月分	100,000	0	0	0	100,000	○概算渡ヲ受ケタル者ヨリ精算殘金ヲ繰入ニ納付セシメタルモノアルトキハ其金額ヲ仕拂額ニ算入シ之ヲ備考ニ記載スヘシ
五月分	50,000	40,000	10,000	50,000	0	
六月分	50,000	0	50,000	50,000	0	
七月分	50,000	50,000	0	50,000	0	
八月分	50,000	30,000	10,000	40,000	10,000	
計	300,000	120,000	70,000	190,000	110,000	
		(後月分ノ例)				
三十二年四月分	100,000	50,000	20,000	70,000	30,000	
八月分	10,000	0	0	0	10,000	
九月分	90,000	20,000	10,000	30,000	60,000	
計	200,000	70,000	30,000	100,000	100,000	

明治何年度何月(自何月日至何月日)仕  
拂證明候也

職官氏名印

會計検査院長宛

年月日

○仕拂證明規程疑義ノ件

金澤出納事務所主任出納官吏照會(明治三十二年五月十六日)

會計検査院第二號ヲ以テ仕拂證明規程改正相成候處疑義ノ味左ニ及御問合候

規程第一條

一 仕拂計算書ノ表紙ニ記載スヘキ部門ノ建設費ハ露出臨時部、作業費ハ鐵道會計部、用品費ハ官設鐵道用品資金會計部下記載シ各別冊ニ調製スヘキヤ

全 第二條

二 第三號過年度ニ屬スル經費ノ仕拂ハ假令其領收證書ニ其金額事由記載アルモ尙備考ニ記載スヘキヤ

三 第四號第五號モ全上ノ確ナルヤ

四 第八號金庫ニ義務委託ヲ爲シタル金額ハ仕拂命令官ヨリ前渡ニ係ル分ノ外回收額ヲモ其相當科目ノ處ニ記載スヘキヤ又其月末殘額トハ其月毎ニ義務委託ヲ爲シタル内仕拂高チ差引タル殘額ナルヤ

全 第四條

五 領收證書及仕拂書ニ附スヘキ番號ハ特ニ該書ノミニ限リ從來紙數番號トシテ凡テノ證書ニ附記セシモノハ自今記入セサルニシテ

全 第十二條

六 竣功明細書ノ件ハ從來ノ例(保存費及補充費各自仕拂書)ニ依リ可然哉

全 第十四條

七 物件購買ノ證書ニ購買ノ際直ニ消費シ物品出納簿ニ登記セサルモノアルトキハ明文ナキモ從來ノ例ニ依リ其事由ヲ附記シ可然哉

全 第十六條

八 誤拂過渡等ノ返納金ヲ受取人ヨリ繰入ニ納付セシメタルモノニ係ル保證書ハ金庫ヨリ得ルコトニ一定スヘキヤ

全 第十七條

九 前項ノ保證書及官吏遺族扶助法納金ニ對スル收入官吏ノ領收證ハ無論仕拂證書トハ別冊ニ編纂スヘキヤ

十 旅費概算簿ノ領收證書ハ精算ヲ待タズ其渡シタル月ニ於テ提出スヘキヤ

十一 若シ提出スルモノトセハ他ノ全費目證書ト別冊ニスヘキヤ

十二 前二項ノ何レナクハ概算簿ノ金額ヲ證書冊表紙ニ付記スルニ當リ假令ハ證書冊ノ合高ヲ千圓トシテ外ニ概算簿高百圓アルモノトスレハ合金ヲ千圓ト記シ外金百圓概算簿高ト付記スヘキヤ

十三 概算簿精算上過剩ノ回收額ニ係ル證書ハ全目證書ト別冊ニスヘキヤ若シ合算スルモノトセハ假令ハ精算仕拂高千圓ニシテ外ニ回收額百圓アルトキハ證書冊表紙ニ合金千圓ト記シ外金百圓回收額ト附記スヘキヤ

十四 證書編纂上從來別冊ニセシ第一回拂ノ契約書ハ如何ニ編纂スヘキヤ

十五 其他規定ノ改正ニ伴ヒ明文ナクシテ要スル整理方ハ此際御指示相成度候

右ハ差掛候儀ニ付至急御答願度候也

検査係第二科回答 (明治三十三年六月二日)

改正仕拂證明規程中御問合ノ件左ニ及御回答候也

一 建設費ハ御意見ノ通り作業費ハ鐵道會計部議出用品費ハ鐵道用品資金會計部議出トス

二 御意見ノ通

三 御意見ノ通

四 總計額ニ於テ本月領收額并ニ回收額ノ義務委託ヲ爲セシ月日ヲ記載シ尙月末仕拂殘金中義務委託額何程ト記載スル儀ニ有之候

五 從來ノ通紙數番號ヲ附シ可然

六 書式未定追テ通達アル筈

七 物品出納簿ニ登記セサルモノハ其事由ヲ附記スルノ要ナシ

八 監督官吏ノ保證書提出ノコトニ一定相成度

九 合冊ニ編纂シ然ルヘシ

十 御意見ノ通

十一 別冊ノ必要ナシ

十二 概算簿高ハ内金何程ト付記セラルヘシ

十三 概算簿精算書并其過剩返納證ハ各別冊ニ編纂シ追給書ハ其月仕拂證書中ニ編入セラルヘシ

十四 契約書ハ一時拂ノ分共編テ證書ト分離別冊トス

右ノ外

第六條 未項ニ條給其他トアレトモ無支給報告ハ列任以上ニ限ル

○仕拂要求書及付屬證書紛失ノ場合ニ於テ仕拂證明方ノ件

神戶出納事務所主任出納官吏何 (明治三十三年九月十八日 神戶第貳號)

仕拂完了ノ仕拂要求書及付屬證書紛失ニシテ取扱中紛失ヲ來シタル場合左記ノ書類ニ據リ仕拂證明ヲナシ可然哉此段相伺候至急何分ノ御指示相仰度候也

一 仕拂要求書原本ニ仕拂要求官ノ證明アルモノ

一 何々ニ對スル貸金幾何何月何日領收ナシタル旨ヲ記載シタル正當債主ノ證明書

一 債主現任住地不明等ニヨリ前項ノ證明ヲ得サル場合ニアツテ何ニ對スル貸金何程何年何月何日正當債主何某ハ仕拂ナシタル旨記載シタル仕拂官吏ノ證明書

計理部長答示 (明治三十三年九月廿一日)  
 神調第二一號何ノ件債主ノ證明ヲ得ラルヘキモノハ其證明書ヲ添付シ又債主ノ證明ヲ得難キモノハ仕拂ニ要スル相當順序ヲ經テレ證書ヲ添付シ共ニ仕拂書ヲ調製シ事由ヲ具シ之ニ上官ノ認定ヲ得證明シ可然此段及答示候也

○競争契約ニ基キ代金仕拂ニ際シ添付スヘキ書類ニ關スル件  
 澤井福島出納事務所長心得照會 (明治三十四年四月十三日)  
 今般購買掛長ヨリ契約書及關係書類御送付相成候處入札資格證明書、納稅資格證明書及契約委任狀等添付無之右等ハ支出證明上必要ノモノト被認候處或ハ添付ヲ要セサル事ニ相成候處又物件必要ノ理由書ハ購入決議書添付ヲ以テ證明スハキ儀ニ有之候處至急何分ノ御答相煩ハシ度此段及御照會候也

矢野事務官回答 (明治三十四年四月廿六日)  
 去ル十三日付甲第一三四號ヲ以テ競争契約ニ基キ代金仕拂ニ際シ添付スヘキ書類之儀ニ付御照會ノ趣取調候處検査院ニ提出スヘキ書類ハ明治二十七年三月廿七日付鐵第二七二號(三十二年七月七日達第四四號ニテ一部改正)歳入歳出納必書類第十條ニ列記セルモノニ限リ其他ノ營業證明書類納稅資格證明書及代金領收ニ關セサル委任狀等ハ一切ヲ添付セサル事ニ取扱居候條左様御承知被下度此段及回答候也  
 道ヲ物件必要ノ理由書ハ購入決議書添付ノ事ト御了知有之度此段申添候也

◎歳入歳出外現金出納證明規程 明治二十四年三月九日  
 會計検査院達第二號

明治二十三年勅令第三十五號ニ據リ歳入歳出外現金出納證明規程左ノ通定ム

歳入歳出外現金出納證明規程

- 第一條 明治二十三年勅令第三十五號ニ據リ出納官吏ノ證明スヘキ歳入歳出外現金出納計算書ハ左ノ書式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 第二條 出納證明上證書類トシテ提出スヘキモノ左ノ如シ
  - 一 受入金ニ對シテハ命令書又ハ決議書

二 仕拂金ニ對シテハ正常受取人ノ領收證書

第三條 前條ノ證書類ハ受入仕拂ニ大別シ計算書ニ掲クル事項毎ニ區分編纂シ其表紙ニ金額ノ合計及證書ノ枚數ヲ記載スヘシ但一事項ノ證書僅少ナルモノハ合算スルモ妨ケナシ

第四條 下検査官吏ハ計算書及證書類ノ下検査ヲ完了シ翌年度六月二十五日以内ニ其廳ヲ發シ之ヲ會計検査院ニ送附スヘシ

第五條 下検査書ハ計算書毎ニ區分調製シ左ノ事項ヲ記載スヘシ

- 一 計算書及證書類ノ件名冊數
- 二 現金出納計算書ト出納帳簿及計算書ノ殘額ト現存額トノ符合ヲ認メタル保證但當該下検査官吏ニテ事實執行シ難キ場合ニ於テハ他ノ監督ノ任アル官吏ノ保證書ヲ以テスルコトヲ得

三 (明治二十七年七月會計検査院達第二〇號ヲ以テ第三號削除)

四 事實ニ適合セスト認定セシ事項ノ理由及金額 (明治二十七年七月會計検査院達第二〇號ヲ以テ第四號中削除)

第六條 證書類中必要ノモノニシテ検査終了ノ上返附ヲ要スルモノアルトキハ其提出ノ際之ヲ會計検査院ニ請求スヘシ

第七條 歳入歳出外現金出納ノ證明ニ關スル審理書又ハ其報告書ハ總テ下検査官吏ヲ經由スヘシ  
 ○本規程ニ對スル疑義ノ件

逓信書記官照會 (明治二十四年六月二十三日)  
 本年三月貴院達第二號ヲ以テ歳入歳出外現金出納證明規程相定メラレ候處歳入歳出外現金トハ會計規則第六十九條第二項ニ該當セル保證金等ノ如キモノニシテ出納官吏職務上之ヲ出納スルモノハ總テ該規程ニ依リ證明スル勿論ノ儀ト被存候得共各所ヨリ送納セル現金ノ歳入金ナルヲ將タ爲替貯金ナルヤ事故ノ爲メ其金筋不列明ニ依リ直ニ歳入歳出外現金トシテ一時保管ヲ爲シタル後其金筋明瞭シ歳入又ハ爲替貯金ニ關スル各計算書ニ於テ證明スルヲ以テ右一時保管金等ハ歳













竣 功 内 譯				竣 功 内 譯			
摘要	数量	金 員	備 考	摘要	数量	金 員	備 考
埋立地平均費				埋立地平均費			
人 足	0	0		川 砂 利	0	0	坪 權買 人
何 々	0	0		川 砂 利	0	0	坪 權買 人
計 々	0	0		七 生 何 人 何	0	0	本 坪 權買 人
何 々	0	0		何 何	0	0	人 何
何 何	0	0		何 何	0	0	何 何
何 何	0	0		何 何	0	0	何 何
計 計	0	0		何 何	0	0	何 何
第一合計				何 何	0	0	何 何
第二石工ノ部				何 何	0	0	何 何
履 石 費				何 何	0	0	何 何
何 所 何 石	0	0		何 何	0	0	何 何
川 所 何 砂	0	0		何 何	0	0	何 何
七 所 何 石	0	0		何 何	0	0	何 何
生 所 何 灰	0	0		何 何	0	0	何 何
何 所 何 工	0	0		何 何	0	0	何 何
石 所 何 足	0	0		何 何	0	0	何 何
人 所 何 々	0	0		何 何	0	0	何 何
何 所 何 々	0	0		何 何	0	0	何 何
計 計	0	0		何 何	0	0	何 何
第二合計				何 何	0	0	何 何
第三石工ノ部				何 何	0	0	何 何
履 石 費				何 何	0	0	何 何
何 所 何 石	0	0		何 何	0	0	何 何
川 所 何 砂	0	0		何 何	0	0	何 何
七 所 何 石	0	0		何 何	0	0	何 何
生 所 何 灰	0	0		何 何	0	0	何 何
何 所 何 工	0	0		何 何	0	0	何 何
石 所 何 足	0	0		何 何	0	0	何 何
人 所 何 々	0	0		何 何	0	0	何 何
何 所 何 々	0	0		何 何	0	0	何 何
計 計	0	0		何 何	0	0	何 何
第三合計				何 何	0	0	何 何
第四石工ノ部				何 何	0	0	何 何
履 石 費				何 何	0	0	何 何
何 所 何 石	0	0		何 何	0	0	何 何
川 所 何 砂	0	0		何 何	0	0	何 何
七 所 何 石	0	0		何 何	0	0	何 何
生 所 何 灰	0	0		何 何	0	0	何 何
何 所 何 工	0	0		何 何	0	0	何 何
石 所 何 足	0	0		何 何	0	0	何 何
人 所 何 々	0	0		何 何	0	0	何 何
何 所 何 々	0	0		何 何	0	0	何 何
計 計	0	0		何 何	0	0	何 何
第四合計				何 何	0	0	何 何
追次締高				何 何	0	0	何 何

竣 功 内 譯				竣 功 内 譯			
摘要	数量	金 員	備 考	摘要	数量	金 員	備 考
埋立地平均費				埋立地平均費			
人 足	0	0		川 砂 利	0	0	坪 權買 人
何 々	0	0		川 砂 利	0	0	坪 權買 人
計 々	0	0		七 生 何 人 何	0	0	本 坪 權買 人
何 々	0	0		何 何	0	0	人 何
何 何	0	0		何 何	0	0	何 何
何 何	0	0		何 何	0	0	何 何
計 計	0	0		何 何	0	0	何 何
第一合計				何 何	0	0	何 何
第二石工ノ部				何 何	0	0	何 何
履 石 費				何 何	0	0	何 何
何 所 何 石	0	0		何 何	0	0	何 何
川 所 何 砂	0	0		何 何	0	0	何 何
七 所 何 石	0	0		何 何	0	0	何 何
生 所 何 灰	0	0		何 何	0	0	何 何
何 所 何 工	0	0		何 何	0	0	何 何
石 所 何 足	0	0		何 何	0	0	何 何
人 所 何 々	0	0		何 何	0	0	何 何
何 所 何 々	0	0		何 何	0	0	何 何
計 計	0	0		何 何	0	0	何 何
第二合計				何 何	0	0	何 何
第三石工ノ部				何 何	0	0	何 何
履 石 費				何 何	0	0	何 何
何 所 何 石	0	0		何 何	0	0	何 何
川 所 何 砂	0	0		何 何	0	0	何 何
七 所 何 石	0	0		何 何	0	0	何 何
生 所 何 灰	0	0		何 何	0	0	何 何
何 所 何 工	0	0		何 何	0	0	何 何
石 所 何 足	0	0		何 何	0	0	何 何
人 所 何 々	0	0		何 何	0	0	何 何
何 所 何 々	0	0		何 何	0	0	何 何
計 計	0	0		何 何	0	0	何 何
第三合計				何 何	0	0	何 何
追次締高				何 何	0	0	何 何





竣 功 內 譯

摘 要	數量	金 員		備 考	摘 要	單位
		円	銭			
亞鉛板張費		0	0	樣側其他何々用	第八壁ノ部 壁 費	石
前葉締高		0	0			
亞鉛板引金平銀		0	0			
何々々		0	0			
計		0	0		粉 石 灰	
軒樋堅樋費		0	0	堅樋用 軒樋及呼吸其他何々用	何々々	計
鑄鐵樋		0	0			
亞鉛引鐵板		0	0			
何々々		0	0			
計		0	0		何々々	
何々々		0	0		何々々	
何々々		0	0		計	
計		0	0		第八合計	
第九合計		0	0		第九鋸ノ部 銅板張費	貫
第十硝子ノ部 硝子費		0	0	硝子硝子用 欄間用	何々付銅板 銅平紙	
硝子板正ニ分厚	方尺	0	0			
同正一分厚	”	0	0			
何々々		0	0			
計		0	0		鉛板張費	貫
何々々		0	0		鉛板	
何々々		0	0		何々	
計		0	0		計	
第十合計		0	0		亞鉛板張費	貫
		0	0		亞鉛板 追次締高	

功 內 譯

數量	金 員		備 考	摘 要	數量	金 員	
	円	銭					
0	0	0	間内地付壁及天井壁立用 同上	水階段費 椽材 檜材 何々	尺	0	0
0	0						
0	0						
0	0						
0	0	0		計		0	0
0	0	0		何々		0	0
0	0	0		何々		0	0
0	0	0		計		0	0
0	0	0		第六合計		0	0
0	0	0	丸形圓根及谷板其他何々用 同上	第七建具ノ部 唐戸費	尺	0	0
0	0						
0	0						
0	0						
0	0	0		椽材 真鍮製蝶番		0	0
0	0	0		何々		0	0
0	0	0		計		0	0
0	0	0		窓及硝子障子費	尺	0	0
0	0						
0	0						
0	0						
0	0	0	陸家根其他何々用	椽材 真鍮締り金物 何々	尺	0	0
0	0						
0	0						
0	0						
0	0	0		何々		0	0
0	0	0		何々		0	0
0	0	0		計		0	0
0	0	0		何々		0	0
0	0	0		何々		0	0
0	0	0		計		0	0
0	0	0		第七合計		0	0

功 内 譯				竣 功 内						
單位	數量	金 員		備 考	摘 要	單位	數量	金 員		
		円	銭					円	銭	
箇間	0	0	0	點燈用 架設用	第十二敵ノ部 敵 砂 粉 何	坪石	0	0	0	
	0	0	0				計々	0	0	0
	0	0	0				何々々	0	0	0
箇間	0	0	0	點燈用 導管用	何々々	箇	0	0	0	
	0	0	0				計	0	0	0
	0	0	0				第十二合計	0	0	0
本貫	0	0	0	屋上用 地中用	第十三煖房ノ部 煖 爐 費	箇	0	0	0	
	0	0	0				寒水石製前飾 深田石製灰止メ石 何々々	0	0	0
	0	0	0				計	0	0	0
本貫	0	0	0	屋上用 地中用	煖 温 機 費	箇間	0	0	0	
	0	0	0				蒸 汽 竈 管 々	0	0	0
	0	0	0				何々々	0	0	0
					何々々		0	0	0	
					第十三合計		0	0	0	

譯 竣 功 内 譯					
備 考	摘 要	數量	金 員		備 考
			円	銭	
假所及煤油其他何々用 同上	第十一燈師ノ部 ペンキ塗費 ペンキ油々 節止何	斤 匁	0	0	入口持及電料其他電力用 同上
			0	0	
			0	0	
煖爐前飾用 同上灰受用	計 ソニス塗費 ソニス罐々 紙何	罐 枚	0	0	階段及床下其他何々塗方用 同上
			0	0	
			0	0	
煖房用 蒸汽或ハ温水用	計 コールター塗費 コールター 氣發油々 何	升	0	0	軒樞其他塗方用 同上
			0	0	
			0	0	
何	計 澁 塗 費 生 漆 々 何 々 々	升	0	0	何處塗方用
			0	0	
			0	0	
	何々々		0	0	
	第十一合計		0	0	



備考		摘要	数量	金員	備考
				円 圓 厘	
		何々 助業給高		0	
		何々 計		0	
		第十七合計		0	
		第十八假股物ノ部			
		下小屋板圍 其外費			下小屋用板圍用
	本	杉丸太長二間末口三寸五分	0	0	
	本	同長二間半 厚四寸角	0	0	
	本	何々	0	0	
	本	計	0	0	
	本	足代費	0	0	足代又ハ棧橋陸地其他何々用
	本	杉丸太二間末口三寸五分	0	0	歩板用如有合品ヲ用セズ
	本	諸木骨板	0	0	
	本	何々	0	0	
	本	計	0	0	
	本	地質試驗費	0	0	假樽取立用
	本	杉丸太長何間末口何寸	0	0	同上
	本	切繩	0	0	
	本	何々	0	0	
	本	計	0	0	
	本	水盛道方費	0	0	建道方其他何々用
	本	杉丸板	0	0	同上
	本	同割	0	0	
	本	何々	0	0	
	本	計	0	0	
		表門々扉用			

備考		摘要	数量	金員	備考
				円 圓 厘	
		何々	0	0	
		何々	0	0	
		何々	0	0	
		計	0	0	
		第十五合計		0	
		第十六便器ノ部			
		便器			
	箇	西洋形便器	0	0	便所用
	箇	水溜桶	0	0	便器洗滌用
	箇	何々	0	0	
	箇	計	0	0	
	箇	何々	0	0	
	箇	何々	0	0	
	箇	計	0	0	
	箇	第十六合計		0	
		第十七受買ノ部			
		請買費			
		何々請買費		0	何所々材料職工悉皆何
		何々請買費		0	ノ請買費計書及仕訳ニ
		何々		0	詳細アルヲ以テ略ス
		計		0	
		何々		0	
		何々		0	
		計		0	
		追次補高		0	

竣 功 內 譯

摘要	數量	金 員		備 考	摘要	單位
		円	圓			
何々々					屏 費	切本
何々々	0	0			何 石	
何々々	0	0			竝 煉 化 石	
					何	
計			0		計	
第二十二合計			0		石 垣 費	本尺
雜					松丸木炭何開未口何寸	
第二十三給與ノ部					松 材	
何々々					何	
何々々	0	0			計	
何々々	0	0			何々々	
					何々々	
計			0		計	
第二十三合計			0		第二十一合計	
總計			0 △ 0		第二十二道路橋梁ノ部	坪
					道 路 費	
					碎 石	
					川 砂 利	
					何	
					計	
					橋 梁 費	切
					何 石	
					何	
					計	

功 內 譯

摘要	數量	金 員		備 考	摘要	單位
		円	圓			
何々々					養生費	組
何々々	0	0			杉 四 分 板	枚
何々々	0	0			檢 脊 板	〃
					何	
計			0 △ 0		計	
何々々					何	
何々々	0	0			何	
何々々	0	0			計	
計			0 △ 0		第十八合計	
第十九器具機械ノ部					器具機械費	組
器具機械費					蒸汽房製煉器械	
水 準 器	0	0			何	
何	0	0			計	
計			0		第十九合計	
附屬建物					第二十一外構諸門ノ部	
第二十一外構諸門ノ部					門 費	組
鐵 製 門 扉	0	0			何	
何	0	0			計	
計			0			
何々々					根石其他何々用	
何々々	0	0			屏積立用	
何々々	0	0				
計			0			
何々々					地形抗木用	
何々々	0	0			捨算盤木用	
何々々	0	0				
計			0			
何々々						
何々々	0	0				
何々々	0	0				
計			0			
何々々					突堅用	
何々々	0	0			上敷用	
何々々	0	0				
計			0			
何々々					根石其他何々用	
何々々	0	0				
何々々	0	0				
計			0			

現在高 材料勞

數量	金員		備考	摘要	單位	使用高	
	月	日				數量	金員
0	0	0		材料	本	0	0
0	0	0		燒過煉化石	”	0	0
0	0	0		竝煉化石	”	0	0
				何々		0	0
				計			0
				勞力	人	0	0
				煉化稅職	”	0	0
				大工	”	0	0
				何々		0	0
				計			0
				器具機械	臺組	0	0
				蒸汽機械		0	0
				何機械		0	0
				何々		0	0
				計			0
				合計			0

力器具機械統計

亡失毀損高			不用品拂出高			計		備考
數量	金員		數量	金員		數量	金員	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
0	0	0	0	0	0	0	0	
		0			0		0	
						0	0	
						0	0	
						0	0	
		0			0		0	
						0	0	
						0	0	
		0			0		0	
						0	0	



總

增	減	現計	摘要	前年度比功高		本年度比功高	
				円	圓	円	圓
0	0	0	水	0	0	0	0
0	0	0	護	0	0	0	0
0	0	0	突	0	0	0	0
0	0	0	築	0	0	0	0
0	0	0	開	0	0	0	0
0	0	0	洗	0	0	0	0
0	0	0	樋	0	0	0	0
0	0	0	合	0	0	0	0
0	0	0	流	0	0	0	0
0	0	0	澁	0	0	0	0
0	0	0	土	0	0	0	0
0	0	0	地	0	0	0	0
0	0	0	買	0	0	0	0
0	0	0	收	0	0	0	0
0	0	0	移	0	0	0	0
0	0	0	轉	0	0	0	0
0	0	0	計	0	0	0	0

摘要	功高		備考	設計算高	
	円	圓		円	圓
新設工事	0	0	何縣何郡何村大字何々 何々ニ付歩道檢功ノ分 何年何月分仕拂命令第何號	0	0
水制工事	0	0		0	0
左岸第何號	0	0		0	0
右岸第何號	0	0		0	0
假設工事	0	0	長何間幅何間此平均	0	0
請負工事	0	0		0	0
計	0	0		0	0
護岸工事	0	0		0	0
左岸第何號	0	0	突堤工事	0	0
右岸第何號	0	0		0	0
計	0	0		0	0
第何號	0	0		0	0
何々	0	0	築堤工事	0	0
計	0	0		0	0
何々	0	0		0	0
何々	0	0		0	0
開鑿工事	0	0	何縣何郡何村何々何川分何川ニ 至何々ノ海ニ注グ	0	0
計	0	0		0	0
何々	0	0		0	0
何々	0	0		0	0





備考		摘要		數量	金額		備考
					円	圓	
		左岸第何號	藤岸				
		沈	床				
		粗帶	桑梢木	0	0		
		杭	々	0	0		
		何	計	0	0		
		上	層				
		割角	栗石	0	0		
		藥	石	0	0		
		何	々	0	0		
			計	0	0		
		第何號	突堤				
		基	礎				
		粗帶	桑梢木	0	0		
		杭	々	0	0		
		何	計	0	0		
		上	層				
		何	目	0	0		
		何	才	0	0		
			石				
			角				
			石				
			追次				
			締高				

何川堤防又ハ何々諸湖除  
長何間幅何間此岸  
長何間幅何間此岸  
長何間幅何間此岸

何川分水又ハ何々運河  
長何間幅何間此岸  
長何間幅何間此岸

間長何間幅何間此岸

長何間幅何間此岸

失板用

蒸汽運轉用

長何間幅何間此岸

長何間幅何間此岸

何岸ハ取用何岸ハ採石用

竣功内譯

備考		摘要		數量	金額		備考
					円	圓	
		扇狀工	前葉				
		人	夫	0	0		
			計	0	0		
		上	層				
		粗帶	桑梢木	0	0		
		杭	石	0	0		
		割	土	0	0		
		藥	々	0	0		
		粘	夫	0	0		
		砂	計	0	0		
		何	事				
		人	々	0	0		
			々	0	0		
			計	0	0		
		請	工				
		負	事				
		何	々	0	0		
		何	々	0	0		
			計	0	0		
			左岸				
			何號				
			水制				
			合				
			計				

長何間幅何間此岸

新設工事  
左岸第何號

沈 床

粗帶 桑梢木

杭 繩繩

何 線石

人 々

子子 夫

相 計

栗 工

狀 桑梢木

粗帶 繩繩

杭 線石

三三 追次





竣功内譯

備考	摘要	数量	金員		備考
			円	銭	
	岸				
何々	々々	0	0		
何々	計	0	0		
何々	々々	0	0		
何々	計	0	0		
	合流口付替合計				
	何々汽船渡溪				操業日數何日間 渡溪土砂何坪
	洪(平)水路渡溪				
何々	々々	0	0		
何々	計	0	0		
何々	々々	0	0		
何々	計	0	0		
	何々汽船渡溪合計				
	修繕工事				
	左岸第何號水制				
何々	々々	0	0		
何々	計	0	0		

竣功内譯

備考	摘要	数量	金員		備考
			円	銭	
	植管組立				
	松長何間何寸角	木	0	0	前後枕土遷 同上土金板
	同板長幅厚	”	0	0	
何々	計		0	0	
	伏方				
	扒伏揚土積	坪	0	0	長何間上口何間深何間此立 坪何坪以迄岸及松土坪引 長何間以迄間何間草何尺
	粘土	”	0	0	
何々	計		0	0	
何々	々々	0	0		
何々	計	0	0		
	木造植管合計				
	合流口付替				
	導水洗床				長何間何間何層合平坪
	粗梁	束	0	0	
	帶檜	”	0	0	
何々	計		0	0	
	掘鑿				
何々	々々	0	0		長何間何間深何尺此立岸 松板及土積品ヲ能クスヘシ
何々	計	0	0		

竣功内覽

計	備考		摘要	單位	數量	金員	
	數量	金員				円	銭
0	0	0	何々		0	0	0
0	0	0	何々		0	0	0
0	0	0	何々		0	0	0
0	0	0	計		0	0	0
0	0	0	左以第何號水制合計		0	0	0
0	0	0	何々		0	0	0
0	0	0	何々		0	0	0
0	0	0	何々		0	0	0
0	0	0	計		0	0	0
0	0	0	總計		0	0	0

統力勞料材

摘要	單位	使用高		亡失毀損高		不用品拂出高	
		數量	金員	數量	金員	數量	金員
			円 銭 厘		円 銭 厘		円 銭 厘
材	束	0	0	0	0	0	0
粗	筋	0	0	0	0	0	0
帶	木	0	0	0	0	0	0
杭	繩	0	0	0	0	0	0
三	子	0	0	0	0	0	0
二	繩	0	0	0	0	0	0
何	々	0	0	0	0	0	0
計			0		0		0
勞	人	0	0				
石	工	0	0				
煉	々	0	0				
何		0	0				
計			0				
總計			0		0		0

備考

明治何年度

鐵道建設費(官設既成鐵道改良費)

某所某所間鐵道(官設既成鐵道改良費)

竣功明細書

年 月 日 起工  
年 月 日 竣功

廳 名

一 設計ノ變更其他ノ事故ニ依リ豫算額ニ増減ヲ生シタルトキ又ハ設計ヲ變更シタルモノアルトキハ其  
一 工事中災害等ニ因リ損害ヲ生シ手戻リ工事ヲ爲シタルモノアルトキハ其狀況並損害額等ヲ備考ニ記  
一 無代價使用ノ物品ハ其數量及見積價格ヲ朱書シ其事由ヲ備考ニ記載スヘシ  
一 竣功明細書提出後數量金額ニ異動ヲ生シタルトキハ其時々々之ヲ報告スヘシ  
一 竣功明細書提出後數量金額ニ異動ヲ生シタルトキハ其時々々之ヲ報告スヘシ

材料現在高

職官氏名印

年 月 日

摘要	數量	金員		備考
		円	圓	
粗帶杭何	0	0	0	
桑梢木々	0	0	0	
計	0	0	0	





竣 功

備 考	摘 要	設計高 数量 金員	竣 功 高								
			前年度迄		本年度		計				
			数量	金員	数量	金員	数量	金員			
	合計										
	内譯										
	何々々										
	何々々										
	コルベルトノ部										
	某所コルベルト	0	0								
	定履大工										
	煉化石職	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	橋挽材	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	粘土	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	何々々										
	計										
	請										
	何々々										
	何々々										
	計										
	合計										
	内譯										
	何々々										
	何々々										
	伏種ノ部										
	某所伏種	0	0								
	何々々										
	何々々										
	計										

内 譯

備 考	摘 要	設計高 数量 金員	損 失 高						合 計	
			前年度迄		本年度		計		数量	金員
			数量	金員	数量	金員	数量	金員		
	某所切取									
	前業締高									
	職									
	何々々									
	計									
	何々々									
	計									
	合計									
	内譯									
	勞力費									
	材器具費									
	橋梁ノ部									
	何川梁橋									
	定履大工									
	臨時工挽									
	土規									
	何々々									
	計									
	何所									
	土工									
	何々々									
	計									







備考	摘要	設計高		竣功高					
		数量	金員	前年度迄		本年度		計	
				数量	金員	数量	金員	数量	金員
	運送ノ部 前業締高			0		0		0	
	何々々			0		0		0	
	計			0		0		0	
	内譯								
	何々々			0		0		0	
	何々々			0		0		0	
	建築用汽車ノ部			0		0		0	
	何々々			0		0		0	
	何々々			0		0		0	
	計			0		0		0	
	内譯								
	何々々			0		0		0	
	何々々			0		0		0	
	建築用具ノ部			0		0		0	
	何々々			0		0		0	
	何々々			0		0		0	
	計			0		0		0	
	内譯								
	何々々			0		0		0	
	何々々			0		0		0	
	麻道及運具ノ部			0		0		0	
	何々々			0		0		0	
	何々々			0		0		0	
	計			0		0		0	
	内譯								
	何々々			0		0		0	
	何々々			0		0		0	

備考	摘要	損失高						合計	
		前年度迄		本年度		計		数量	金員
		数量	金員	数量	金員	数量	金員		
	合計							0	
	内譯								
	何々々							0	
	何々々							0	
	器械場ノ部							0	
	何々々							0	
	何々々							0	
	計							0	
	内譯								
	何々々							0	
	何々々							0	
	諸建物ノ部							0	
	何所事務所							0	
	何々々							0	
	何々々							0	
	計							0	
	何所縣官舎							0	
	何々々							0	
	何々々							0	
	計							0	
	合計							0	
	内譯								
	何々々							0	
	何々々							0	
	運送ノ部							0	
	何々々							0	
	何							0	
	追次締高							0	



明治何年度

鐵道作業費

事業費

保存費第何號何所修繕(補充費第何號何々補充)

竣工明細書

年 月 日起工  
年 月 日竣工

應 名

一 設計ノ變更其他ノ事故ニ依リ豫以額ニ増減ヲ生シタルトキ又ハ設計ヲ變更シタルモノアルトキハ  
一 其事由ヲ備考ニ記載スヘシ  
一 工事中災害等ニ因リ損害ヲ生シ手戻リ工事ヲ爲シタルモノアルトキハ其狀況留損害額等ヲ備考ニ  
一 記載スヘシ  
一 無代價使用ノ物品ハ其數量及見積價格ヲ朱書シ其事由ヲ備考ニ記載スヘシ  
一 部分請負ニシテ請負費ニ設計仕積ヲ詳記シタルモノハ其金額ノミヲ掲ケ事由ヲ備考ニ記載スヘシ  
一 竣功明細書提出後數額ニ異動ヲ生シタルトキハ其時々々之ヲ報告スヘシ  
一 支出未済ニ係ルモノアルトキハ其數量金額ヲ備考ニ記載スヘシ但材料ニ在リテハ材料受拂欄ノ備  
一 考ニ於テ其數量金額ヲ受拂及殘ニ區分記載スヘシ

職官氏名印

年 月 日

材 料 受

摘 要	受 入						拂 用					
	前年度		本年度		組 換		計		使 用		亡失損	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額	数量	金額
橋 梁												
規 規	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
挽 丸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
杉板花鋸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
粗梁何	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
コルバルト												
挽 丸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
杉切	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
伏 種												
土粘何	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
管土々	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計々々	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
何何	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0





残高		備考	設計算高		増		減	
円	銭		円	銭	円	銭	円	銭
0	0	延長何町何間 電信線何條 引込線何箇所 " 何里 " 何條	0	0	0	0	0	0
0	0		0	0	0	0	0	0
0	0		0	0	0	0	0	0
0	0		0	0	0	0	0	0
0	0		0	0	0	0	0	0
0	0		0	0	0	0	0	0
		延長何町何間 何箇所 延長何町何間 何箇所 延長何町何間 鐵管數何條 " 何町何間 " 何條						

總括

現計	摘要	前年度達成功高		本年度達成功高		計	残高
		円	銭	円	銭		
0	陸線ノ部	0	0	0	0	0	0
0	海底線ノ部	0	0	0	0	0	0
0	通信器械ノ部	0	0	0	0	0	0
0	試驗室ノ部	0	0	0	0	0	0
0	海底線陸上室ノ部	0	0	0	0	0	0
0	給與ノ部	0	0	0	0	0	0
0	計	0	0	0	0	0	0
	(電話線新設〔増設〕ノ例)						
	局内工事ノ部						
	空架線工事ノ部						
	加入者室内工事ノ部						
	地下線及電氣ケーブル布設工事ノ部						
	マンホールノ部						
	鐵管布設工事ノ部						
	何所河底鐵管布設工事ノ部						
	計						

前年度残高	本年度計	増	減	現計	摘要	功高		
							円	銭
0	0	0	0	0	陸線ノ部	0		
0	0	0	0	0	海底線ノ部	0		
0	0	0	0	0	通信器械ノ部	0		
0	0	0	0	0	試験室ノ部	0		
0	0	0	0	0	海底線陸上室ノ部	0		
0	0	0	0	0	給與ノ部	0		
0	0	0	0	0	計	0		
					(電話線新設〔増設〕ノ例)			
					局内工事ノ部			
					空架線工事ノ部			
					加入者室内工事ノ部			
					地下線及空架ケーブル布設工事ノ部			
					マンホールノ部			
					線管布設工事ノ部			
					何所河底線管布設工事ノ部			
					計			

竣功内譯

備考	摘要	数量	金額		備考
			円	銭	
	陸線ノ部				
	材料				
	電柱杉丸太	0	0	0	
	腕角何番鐵銅	0	0	0	
	何混合	0	0	0	
	何混水測繩	0	0	0	
	何	0	0	0	
	計				
	工事用器具				
	圓鋤鐵梯器何	0	0	0	
	頭鋤鐵梯器何	0	0	0	
	子修	0	0	0	
	計				
	雜				
	運搬車路何	0	0	0	
	敷損手	0	0	0	
	費料料當々	0	0	0	
	計				

何工事不用品引戻=付替代額









但様式ハ計理部ヨリ關係ノ部所ニ配付ス

竣功明細書調製心得

通則

- 一 歳入歳出々納必要書類達第十四條ノ竣功明細書ハ明治三十二年七月會計検査院達第四號ノ様式ニ依リ之ヲ調製スヘシ
- 二 竣功明細書中總括ノ部ハ任命令官其他ノ部分ハ各其主管ニ依リ部長若クハ出張所長保線事務所長工場長之ヲ調製シ其所場長調製ノ分出張所長調製ニ係ル作業費支出ノ竣功明細書ハ除ク主管ノ部長之ニ連署スヘシ  
(明治三十三年七月十二日長官達第六〇號ヲ以テ本項中改正)
- 三 竣功明細書中竣功内譯ノ部ト材料受拂ノ部トハ別冊ニ之ヲ調製スヘシ
- 四 竣功明細書ノ表紙ノ廳名ハ鐵道作業局トシ其下ニ部名又ハ出張所名保線事務所名工場名ヲ記載スヘシ(明治三十三年七月十二日長官達第六〇號ヲ以テ本項中追加改正)
- 五 竣功明細書ノ用紙ハ厚質礫水引美濃紙トス  
建設費改良費及淀川新流架橋費支辨工事ノ部
- 一 表紙ノ起工年月日ハ工事施行ノ際ニ於ケル實測着手ノ日竣功年月日ハ實際全部竣功ノ年月日ヲ記載ス故ニ未済竣功年度ノ分ニハ竣功年月日ヲ記載セス
- 二 書式凡例第一項ノ豫算額ハ竣功内譯ニ記載セル設計高ニシテ設計ノ變更其他ノ事故ニ依リ該豫算額カ増減シタルトキ又ハ増減セサルモ設計ヲ變更シタルモノアルトキハ其事由ヲ備考ニ記載スヘキモノトス
- 三 同例第二項ニ依リ記載スヘキ損失高ハ手戻リ工事ノ爲メニ要シタル費額ヲ掲ク故ニ竣功工事中實際損害アルモ該年度中ニ手戻リ工事ヲ施行セサルモノハ竣功明細書ニ表レサルヘシ

明治三十三年七月十二日長官達第六〇號ヲ以テ本項追加

但損害工事中別ニ手戻リ工事ヲ要セス現場所片付方等ニ止マルモノハ其費額ヲ損害高トス

第三項ノ二 前項ノ手戻リ工事トハ作業所屬ニ引渡前ノ修繕ニシテ左記工事ヲ除キタル總テノ費用ヲ包含ス

- 但左ニ記載ノモノト雖モ災害等ニ依リ大破損若クハ滅失ニ歸シ是レカ復舊又ハ補充ヲ爲シタル費用ハ損失トス
- 一 事業上ニ要スル建造物假事務所等ノ類若クハ建築用具等ノ修繕費
- 一 營業目的ノ建造物ヲ建設事業ノ爲メ使用スルニ依リ生スル或工區ノ工事ノ爲メ或竣功區ヲ使用スル建築列車運轉ノ爲メニ生スル軌道修繕等類必要ノ維持修繕費
- 四 天災又ハ設計變更ノ爲メ既成部分ノ廢棄ニ屬シタルモノ又ハ消滅スルモノ手戻リ工事ヲ要セザルモノハ別ニ損失高ニ算入セス單ニ其旨ヲ備考ニ記載スヘシ
- 五 書式凡例第三項ノ無代價品トハ左ノ如ク解釋ス
  - 一 同一會計内ニ於テ甲工事ニ使用ヲ終リタルニ依リ乙工事ニ使用スル建築用材
  - 一 同一會計内ニ於テ天災又ハ設計變更ノ爲メ既成部分ヨリ生シタル物品
  - 一 改其工事ニ於テ既成線ヨリ撤去シテ使用スル物品
  - 一 他區間若クハ他ノ會計ニ於テ購入シタル建築用具
  - 但建築用具ハ原價ニヨル
  - 一切取若クハ隧道掘鑿其他用地内ヨリ生シタル木石土砂等
  - 一 最寄ノ河川等ヨリ拾集シタル砂石
- 六 前項無代價品ノ備考ニハ該物品出所ノ要領ヲ記載スヘシ
- 七 書式凡例第四項部分請負ニ對スル設計高ハ請負高ニ依リ全部設計高ノ内ニ含有セシメ備考ニ

其金額ヲ記載スヘシ(明治三十三年十二月十日長官代理  
達第九六號ヲ以テ本項中改正追加)

八 總括ノ豫算額ハ繼續總豫算額ヲ揭ク

九 總括ノ竣功高ノ前年度迄ノ分ハ前年度迄竣功ノ全部ヲ揭ク

十 總括ノ損失高ハ第三項ノ損失高ハ外尙材料受拂中ノ亡失毀損及不用引繼濟高其他誤拂過渡又ハ歲出ノ欠損ニシテ補填セラレサル額ヲ揭ク備考ニ其金額要領ヲ記載スヘシ

十一 總括ノ使用未濟額中ノ材料ハ材料受拂中ノ殘高ヲ其儘記載スヘシ

十二 總括ノ使用未濟額中ノ豫算額ハ該年度迄ニ支出シタル繼續總豫算ノ殘額ヲ揭クヘシ

十三 建設工事ノ竣功内譯ハ目ノ區別ニ依リ線路撰定ノ際伺定ニ係ル區間ヲ別テ記載シ其一設計内ノ工事ニシテ甲乙撰定區間ニ跨ル場合ハ乙撰定區間ニ係ル分ヲ甲撰定區間ノ内ニ編入シ備考ニ其金額要領ヲ記載スヘシ

但軌道費、車輛費、運送費、建築用汽車費、建築用具費、柵垣及境界杭費、電信線架設費ハ

單ニ目ノ區別ニ依リ記載スヘシ(明治三十三年十二月十日長官代理  
達第九六號ヲ以テ本項中改正)

十四 建設工事ノ竣功内譯ニ記載スル設計高ハ、工事施行ニ際シ伺定メニ係ル設計高ヲ記載スヘシ

但線路撰定ノ際認可ヲ受ケタル設計豫算書ハ歲入歲出々納必要書類達第十四條ニ依リ提出スヘキ設計書任譯書設計圖面等ニ添ヘ之ヲ提出スヘシ

改良工事ノ竣功内譯ニ記載スル設計高ハ目ノ區別ニ依リ認可ヲ受ケタル設計豫算高ヲ記載スヘシ

十五 工事ノ全部ヲ受負ニ附シタルモノモ其請負高ヲ設計高欄ニ揭ク其數工事ヲ集メテ一ノ受負ニ附シタル場合ハ其内譯ニ依リ之ヲ揭クヘシ

但當局ヨリ材料ヲ配給スルトキハ其見積豫算額ヲモ併算シテ揭ク備考ニ其金額ヲ記載シ其竣功ノ記載方ハ第二十二項但書ニ依ルヘシ(明治三十三年十二月十日長官代理  
達第九六號ヲ以テ本項中改正)

十六 天災又ハ其他ノ事故ニ依リ前設計ヲ廢棄シ更ニ工事名ヲ變更シテ新ニ設計ヲ立タルトキハ新舊別個ノ工事トシテ各其設計及竣功ヲ揭ク設計ノ備考ニ其旨ヲ記載スヘシ

十七 竣功内譯ノ竣功高ノ前年度迄ノ分ハ前年度ヨリ本年度ニ跨ル工事ニシテ前年度迄ニ竣功シタル部分ヲ揭ク

十八 其年度ニ於テ仕拂未濟ニ係ル五分ノ一金ハ工費物品代又ハ受負費トモ總テ支出濟ニ係ル五分ノ四ト合セテ之ヲ揭ク備考ニ其旨(金額トモ)ヲ記載スヘシ

但年度内ニ使役濟ノ職工人夫ニ對スル賃金若クハ既納物品ニ對スル代金ノ請求ヲキモノハ現使役濟又ハ領收濟ノ數量ニ相當スル代金ヲ算定シテ之ヲ揭ク備考ニ其旨ヲ記載スヘシ

十九 作毛損害移轉及樹木伐採ノ件數ハ一請求書ヲ以テ一件トス

但一請求書ニシテ作毛損害手當ト移轉及樹木伐採手當ノ二種ヲ連記セルモノハ二件ニ計算シ各相當ノ部ニ揭クヘシ

二十 官有地ノ引渡ヲ受ケ又ハ人民ヨリ献納シタル用地ハ見積代價ヲ以テ朱記シ其旨ヲ備考ニ揭クヘシ

二十一 職工人足若クハ物品等ニシテ書式ニ明記ナキ同一名稱(假令ハ並大工ト上大工ノ如キハ同一名稱トス)ノモノハ合シテ之ヲ揭クヘシ

二十二 書式中受負ノ分ハ一目ニ付線路撰定區間每一坐ヲ設ケテ記載シ其受負工事名ニ依リ内譯ヲ記載スヘシ(明治三十三年十二月十日長官代理  
達第九六號ヲ以テ本項中改正)

但一部受負ノ分ハ該直營工事ノ内譯ヲ列記シタル次ニ記載スヘシ

第二十二項ノ二 一 工事ニシテ數回ニ設計ヲ爲シタルモノハ各設計高ヲ併算シテ掲ケ備考ニ其金額要領ヲ記載スヘシ

但シ竣功ノ記載方ハ甲設計ハ前年度ニ竣功シ翌年度ニ至リ更ニ乙設計ノ工事ニ着手スル場合ハ其甲設計ニ對スル前年度迄ノ竣功高ハ單ニ合金額ヲ掲ケ備考ニ其事由ヲ記載スヘシ若シ前年度ニ於テ甲乙設計トモ其工事ニ着手セシトキハ通常ノ記載例ニ據ルヘシ(明治三十三年十二月十日長官代理達第九六號ヲ以テ本項追加)

二十三 書式中ノ合計内譯器具器械類ノ下ニ雜費ノ一項ヲ設ケ其事業ニ決算シタル借家借地料及旅費等ヲ編入ス

二十四 六呎未満ノコルメント及伏樋ハ設計ノ區別ニ依リ其所間トシ數個ヲ合記ス此場合ニハ其個數ヲ備考ニ記載シ設計高數量ハ延數ヲ掲ケヘシ

但伏樋ハ横長ノ延長コルメントハスパンノ延長トス

二十五 車輛ハ節ノ區別ニヨリ尙其種類毎ニ列記スヘシ

二十六 運送費ハ別ニ品名ヲ掲ケス節ノ區別ニ依リテ金額ヲ記載シ假道敷設ハ他ノ工事ノ例ニ依リ運送用具借用料ハ一品毎ニ之ヲ掲ケヘシ

但合計内譯ハ掲記ヲ要セス(明治三十三年十二月十日長官代理達第九六號ヲ以テ但書追加)

二十七 建築用汽車及建築用具ハ節ノ區別ニ依リ一物件毎ニ掲ケヘシ

二十八 柵垣ト境界杭トハ二項ニ分チテ記載シ柵垣ハ間數境界杭ハ哩數ヲ以テ掲ケヘシ

二十九 不用材料ノ引繼ハ不用物品取扱細則ニ依リ不用トシテ處分スル分ノミヲ掲ケヘシ

三十 同一會計内ニ於テ科目更正ヲ爲シタル材料ハ組換ノ部ニ編入ヲ要セス科目更正期限後ニ轉用ヲ爲シタルモノハ組換ノ部ニ其受拂ヲ記入シ其旨ヲ備考ニ掲ケヘシ

但同目内甲乙兩工事間ノ流用ハ竣功内譯ノ備考ニ記載シ材料受拂ニハ掲記ヲ要セス

三十一 甲乙款項目ヲ異ニスル兩工事ニ於テ(豫算内)材料ヲ一時貸借シタルトキハ甲ノ部ニ於テハ

乙ニ貸渡ス旨ヲ備考ニ記シ乙ニ於テハ之ヲ組換受ニ入レ其旨ヲ備考ニ記シ返却ノ爲メ購入ノ分ハ普通ニ受入組換ニテ拂ニ立テ代價ノ差額ハ乙ニ於テ負擔ス

但年度内ニ返還ヲ了シタルモノハ明細書中竣功内譯ニ記載セス

三十二 材料受拂ノ部凡例第二項無代價品ノ受ハ組換受入ノ部ニ使用ノ爲メノ拂出ハ使用ノ部ニ朱書ニテ掲ケ普通組換ノ分ト別記スヘシ

三十三 代價前金拂又ハ概算渡ノ材料ハ精算ニ至リタルモノヲ以テ之ヲ材料受拂ノ受ニ掲ケ前年度マテノ前金拂又ハ概算渡ニ對スルモノハ備考ニ其旨ヲ記シ又年度内ニ精算ニ至ラサルモノアルトキハ總括ノ部使用未済材料ノ次ニ未精算物品代ノ一欄ヲ設ケ其金額ヲ記載スヘシ(明治三十三年十二月十日長官代理達第九六號ヲ以テ本項中刪除改正)

但前年度迄ノ概算渡ニ係ル材料ニ對シ精算ノ結果追任拂ヲ爲シタルモノアルトキハ其金額ハ當初ノ概算渡代價ト共ニ本年度受ノ部ニ算入シ若シ精算過剩ヲ生シ其金額ヲ歲入ニ返納セシメタルトキハ第十項ニ準據シテ總括ノ損失高ニ掲ケ備考ニ其旨ヲ記載スヘシ

三十四 竣功明細書及材料受拂表ノ外別紙様式ノ竣功明細書附屬竣功高内譯總計表當該年度決算額内譯表年度末材料殘品價格内譯表ヲ參照トシテ添付提出スヘシ

作業費支辨工事ノ部

一 書式凡例第一項第三項第四項ハ建設費ノ例ニ全シ

二 同例第二項ノ損害額ハ建設費第四項ノ例ニ依リ之ヲ算出シテ備考ニ掲ケヘシ

三 同例第六項支出未済ニ係ルモノ、數量金額ハ支出濟代價ト共ニ之ヲ掲ケ備考ニ其旨(金額トモ)ヲ

記載スヘシ

四 表紙ニ記スヘキ起工竣工年月日ハ實際ノ起工竣工ニ依リ年度内竣工ノ分ハ年度内未竣工ト記載スヘシ

五 竣工明細書中仕拂官吏ノ仕拂タル工費其他材料ニ屬スル分ハ竣工内譯ノ備考材料費ハ材料受拂ノ本年度受入ニ對スル備考ニ其金額及出納事務所名仕拂官吏氏名ヲ記載スヘシ

六 同一設計ニ係ルトキハ保存費又ハ補充費兩費目ヨリ支辨ニ係ル者ト雖モ一工事トシテ整理スヘシ

但一通ノ設計書中數工事分ヲ列記シ其設計總額ハ千圓以上トナルモ各工事ノ千圓未満ノ分ハ竣工明細書ノ提出ヲ要セス又内譯中千圓以上ト千圓未満トノ分ヲ列記セルモノニシテ全ク別種ノ工事ニ係ルモノハ千圓以上ノ分ニ對シ竣工明細書ヲ提出シ千圓未満ノ分ハ提出セス此場合ニ於テ歲入歳出納必要書類第十四條ニ依リ提出スヘキ設計仕譯書ハ千圓以上ノ分ノミヲ

掲ケ其他ハ費額千圓未満工事ノ分ニ付略スル旨ヲ記載シテ各其列記ヲ略ス

七 前項兩費目ヨリ支辨ニ係ルモノハ表題ハ兩費兩番記號(自ノ區別ニ依ラズ通シテ一番)ヲ記載シ内部ハ合計ニ各目節細節内譯金額ヲ掲クヘシ

八 當初千圓以上ノ設計豫算ノモノニシテ設計變更其他ノ事由ニヨリ竣工高千圓未満ニ減少シタルモノハ竣工明細書ノ提出ヲ要セス此場合ニ於テハ其報告書ヲ提出スヘシ

九 當初ノ設計豫算千圓未満ノモノニシテ設計ノ變更其他ノ事由ニ依リ其結果千圓以上ト爲リタルモノハ竣工明細書ノ提出ヲ要ス

十 職工人夫又ハ物品等全一名稱(假令ハ上大工ト並大工ハ同一名稱トス)ノモノハ合シテ記載スヘシ但長幅厚若クハ末口等ヲ異ニスル木材類ハ全一寸法ノ類別ニ依リ掲クヘシ

十一 材料受拂書式凡例第一項乃至第三項ノ解釋ハ建設費ノ例ニ全シ

十二 材料受拂組換方ハ建設費ノ例ニ依ルト雖モ同日内ニテモ甲乙兩工事間ノ流用ハ組換ノ部ニ記載シ其旨ヲ備考ニ記載スヘシ

十三 千圓以上ノ工事ニ使用ノ爲メ購入ノ物品ヲ千圓以下ノ工事ニ使用シ又ハ千圓以下ノ工事ニ使用ノ爲メ購入ノ物品ヲ千圓以上ノ工事ニ使用シタルトキハ前項ノ例ニ依ル

十四 他ノ工事ニ用ユル材料ヲ設計豫算ノ範圍内ニ於テ一時貸借シタルトキハ建設費ノ例ニ依リ之ヲ整理スヘシ

十五 三十一年度ニ於テ竣工ニ至ラズ三十二年度ニ至リ竣工シタル工事ニシテ三十一年度ニ於テ其費額千圓未満ト雖モ前後兩年度通算シテ其總費額千圓以上ノモノハ竣工明細書ノ提出ヲ要ス但其旨ヲ備考ニ記載スヘシ

十六 三十一年度ニ於テ工事未着手ノ爲メ工場ニ現在スル物品又ハ工事未竣工ノ爲メ工場ニ現在セル未使用ノ物品ハ三十二年度材料受拂相當欄内ニ記載スヘシ

十七 竣工明細書ニハ別紙様式ニヨリ工事費仕拂區分書ヲ添付シテ仕拂命令官ニ提出スヘシ但仕拂官吏ノ仕拂ニ懸ル分ハ一旦當該仕拂官吏ニ送付シ其照合ヲ經テ提出スヘシ

十七項ノ二 前項區分書ノ送付ヲ受ケタル仕拂官吏ハ照合ノ上其備考欄内ニ仕拂濟ノ年月ヲ加記シ且照合濟ノ旨ヲ記載シ署名捺印ノ上返却スヘシ

十八 第九項又ハ第十三項後段ニ該當スル竣工明細書ニハ計理部ニ於テ其仕拂ニ該當スル證書番號ヲ竣工明細書ノ備考中ニ記入シ若クハ別ニ其仕譯書ヲ添付スヘシ

◎現金出納計算書ヲ以テ證明スヘキ現金ノ取扱ナキトキ無取扱報告書調

明治三十四年二月廿一日  
第十八號  
ニテ第十七項  
改正

製提出ノ件 明治三十二年三月廿五日 會第一〇〇一號遞信大臣達

鐵道作業局

其局所屬出納官吏ノ現金出納計算書ヲ以テ證明スベキ現金ノ取扱ナキトキハ無取扱報告書(會計検査院長宛)ヲ作り局長經由之ヲ大臣官房會計課長ニ送付スベシ

○同上ニ關スル件

神戶主任出納官吏照會(明治三十二年五月廿六日 神收乙第五六號)

鐵計檢發第六九號ノ一ニテ現金出納計算書ヲ以テ證明スヘキ各收入ノ中現金取扱ナキトキ無取扱報告書送付ノ件御通達ニ相成候處右ノ各欄收入金ノ如キ現金ノ取扱ハサレトモ現金出納計算書ニハ掲記證明ヲ受クヘキモノニ有之右等ノ如キモノヲ指示シタルモノニ有之候哉果シテ然ラハ該計算書提出ノ際報告書添付提出スヘキ義ナルヤ又報告書ハ如何ナル様式ニ候哉要スルニ其種類等明瞭致兼候御細御指示相成度此段及御問合候也

(參看)

計理部長ヨリ各主任收入官吏へ通達(明治三十二年五月廿二日 鐵計檢發第六九號ノ一)

現金出納計算書ヲ以テ證明スヘキ各收入ノ中現金ノ取扱ナキトキ無取扱報告書送付ノ件遞信大臣ノ達ニ依リ此段及通達候也

検査書回答(明治三十二年五月廿九日 第二〇六號)

神收乙第五六號ヲ以テ御問合ノ件ハ各收入ノ中一年度ニ亘リ現金出納計算書ヲ以テ證明スヘキ必要ナキトキハ其官報告スル義ニ可有之又書式ハ別段制定無之候ニ付普通文書ニテ可然ト存候此段及御答候也

◎仕拂計算書ノ保證書作成心得 明治三十二年六月五日 鐵計檢發第一〇九號ノ一(計理部長ヨリ各所)

明治三十年一月二十二日鐵計乙第一〇八號(静岡ハ鐵計乙第一一〇號)ヲ以テ相違置候仕拂計算書ノ保證書ハ明治三十二年分ヨリ別紙心得ニ據リ作成提出相成度此段相違候也(別紙)

仕拂計算書ノ保證書作成方心得

- 一 出納官吏ヨリ月末ニ於テ翌月ニ越スヘキ現金高ヲ記セシ書面ヲ領シ直ニ金櫃ニ就キ其金額ヲ計算シ總金額ノ當否ヲ認定スヘシ
- 二 金庫ニ保管預クノ分ハ金庫月計對照表ニ依リ確認シ其保管額ニ前項現金ヲ加算シ現金出納簿ノ殘高ト符合スルヤ否ヤヲ認定スヘシ
- 三 現金出納簿ノ殘高ト仕拂計算書ノ殘高ト對照シ符合スルヤ否ヲ檢定スヘシ但分任仕拂官吏ニ交付アルモノハ仕拂内譯簿並分任仕拂官吏内譯簿ニ依リ分任官吏ノ手元ニアル殘高ヲ仕拂計算書殘高ヨリ控除シ尙諸收入中現金取扱ニ係ルモノニシテ出納内譯簿ニ依リ殘高アルモノハ該金額ヲ現金出納簿殘高ヨリ控除シ以テ對照ス
- 四 前各項ニ依リ符合ヲ認メタル上左ノ書式ニ依リ作製スルモノトス(書式)

保證書

一 現金前渡ヲ受ケタル官吏官氏名證明ニ係ル明治何年度何年何月(一ヶ月ニ滿タサルト)分歲出(臨時部何費(款)仕拂計算書)

右現金出納簿ト符合及殘額現在(殘額ナキトキハ及)ヲ保證ス

明治 年 月 日 官 氏 名 印

◎仕拂計算書ノ保證書作成心得 明治三十二年六月五日 鐵計檢發第一一〇號ノ一(計理局長ヨリ各)

仕拂計算書ノ保證書作成方ニ付別紙ノ通相違候條貴官ニ於テ作成ノ場合ニハ右適用相成度此段相



達候也

(別紙ハ明治三十二年六月鐵計檢發第一〇九號ノ一計理部長通達ト同一ニ付略ス)

◎計算書ニ添付スベキ證憑書類編纂區分方ノ件(明治三十二年六月六日)會計檢査院局長ヨリ本局長官(通牒)

本年本院達第一號支出證明規程同第二號仕拂證明規程ニ依リ貴局仕拂命令官及前渡官吏ヨリ支出又ハ仕拂計算書ニ添へ御提出可相成證憑書類ノ編纂區分方別紙ノ通相定候條此段及御通知候也

追テ契約解除又ハ違約處分ニ係ルモノニシテ計算書提出ノ際處分未定ノモノ其處分濟報告支出未濟操越金明細書調製方并概算渡ニ係ル物品ノ精算整理方ハ從前ノ通御提出有之度候也

(別紙)

記

- 一 受負工事又ハ物品購買ニ關スル契約書類及直營事業ニ係ル設計書(任譯書圖面共)ハ證書ト各別ニ編纂スヘシ
- 一 證書中仕拂科目ノ跨リタルモノハ其證書内譯
- 二 各目金額ヲ付記シ一方ニハ其寫ヲ編入シ且其本證書ノ所在ヲ明記スヘシ
- 一 作業費所屬直營工事費ニ對スル證書ニハ竣功明細書ニ記載ノ工事番號ヲ付記スヘシ
- 一 各目證書中廳中用品雇員給備入料諸職工給料賄料旅費材料費等ノ如キモノハ類集編纂スヘシ
- 一 現金前渡官吏取扱ニ係ル概算渡ニ對スル精算證書ハ其概算渡シヲ爲シタル月ヲ以テ區分編纂スヘシ

以上

◎仕拂證明ニ關スル件(明治卅二年七月七日)計理部長ヨリ各主任及臨時仕拂官吏(通牒)

先般仕拂證明規程改正相成候處尙今般當局歳入歳出々納必要書類中改正相成候ニ付テハ仕拂證明上別紙ノ通御了承相成度此段及御通牒候也

- 一 受負工事又ハ物品購買ニ關スル契約書類ハ證書ト各別ニ編纂スヘシ
- 一 證書中二目以上ノ仕拂科目ニ跨ルモノハ歳入歳出納必要書類第十六條第三項ニ依リ仕拂要求者ニ於テ調製シタル各目金額任譯書ヲ相當ノ部ニ編入整理シ且第二目以下ノ任譯書ニハ本證書ノ所在ヲ明記スヘシ
- 一 各目證書中廳中用品雇員給備入料諸職工給料賄料旅費材料費等ノ如キモノハ類集編纂スヘシ
- 一 旅費概算渡ニ對スル精算證書ハ其概算渡ヲ爲シタル月ヲ以テ區分編纂スヘシ
- 一 證明規程第十二條ノ書類ハ總テ仕拂命令官ヨリ提出スルニ依リ仕拂官吏ヨリ提出ヲ要セス
- 一 證明規程第十六條ノ保證書ハ歳入調定官ヨリ交付シタルモノヲ提出スヘシ
- 一 歳入歳出々納必要書類第八條第四號五號ノ書類及第十三條第一項第五號ノ契約書ハ別ニ之ヲ保存シ證明ニ提出ヲ要セス
- 一 同上第十二條第一號但書ニ依リ延納處分ニ關スル書類ノ提出ヲ受ケタルトキハ從前ノ通明治二十九年八月鐵計乙第一五六五號通牒乙號書式ニ準シ代價仕拂後延納處分報告書ヲ調製シ會計檢査院ニ提出スヘシ

明治三十三年三月十四日  
會計檢査院  
第一類 第六章 決算 第二節 支出證明

明治何年度鐵道作業費支辨一廉千圓以上直營工事費

明治何年何月仕拂報告書 (用紙ハ仕拂計算書ニ全シ表紙ヲ要セズ)

摘要	工 費			材 料 費			雜 費			計	備 考
	工	費		材	料	費	雜	費			
(目) 何々費											
何々第何號修繕又ハ補充工事											
何所要求第何號ノ分	0			0			0			0	
何所要求第何號ノ分	0			0			0			0	
何々第何號修繕又ハ補充工事											
何所要求第何號ノ分	0			0			0			0	
計	0			0			0			0	
合計	0			0			0			0	
何所主任	仕拂官吏			官 氏 名 印							
年 月 日											

○受負工事ニ對スル契約書付屬圖面添付方ノ件 明治三十三年二月九日(計理部長ヨ

務兩部長) 通牒

受負工事ニ對スル契約書付屬圖面ハ從來仕拂證明上多クハ省略致來候處過般證明規程改正後ハ從來ノ慣例ニ據ラス添付證明スヘキ等ノ處依然省略向有之候ニ付今回會計検査院へ從來ノ通り省略方協議候處結局受負額千圓ヲ分界トシ以上ノ分ニ對シテハ渾テ添付ヲ要スル趣キニ付自今ハ無洩添付相成度且本件ハ御所管各所へ御通達相成候様致度此段及御通牒候也

(明治三十三年二月八日鐵計檢發第八九號ノ一ヲ以テ計理部長ヨリ各出納官吏宛通牒ハ本文ト同一ニ付略ス)

○計算證明ノ爲メ會計検査院へ提出證憑書類處分方ノ件 明治三十三年三月三十日會乙第一二五九號

(遞信大臣官房) 會計課通牒

計算證明ノ爲メ會計検査院へ提出セル證憑書類ノ處分方ニ關シ別紙ノ通同院ヨリ照會有之候處異存無之旨回答相成候間爲念此段及御通牒候也

(別紙)

山田會計検査院長ヨリ芳川遞信大臣宛照會(明治三十三年二月二十三日) 送第三八五號

貴省御所管各部局ヨリ計算證明ノ爲メ本院へ提出相成候證憑書類ハ検査完了後本院ニ於テ保存シ來リ候處右ハ悉ク永遠ニ保存シ能ハサル義ニ付特ニ保存ヲ必要トスルモノ、外ハ自今當該會計年度經過後十ヶ年ニ至リ便宜上本院ニ於テ適當ノ方法ニ依リ廢棄致度候就テハ右ニ關シ御異議無之候哉御協議旁此段及御照會候也

追テ廢棄處分執行ノ節ハ費省ニ於テ保存ヲ必要トセラル、モノ、有無ニ關シ其都度可及御問合候

◎仕拂證據中入札豫定價格調査ニ關スル件 明治三十三年四月二十六日（計理部長ヨリ各仕拂官通牒）

各要求官ヨリ回送セル仕拂證據書中入札豫定價格調査類ハ落札後ト雖トモ他向ヘ漏洩セシメサル爲メ封緘ヲ施シ回送ノ審ニ付仕拂官吏ニ於テ調定上必要ノ場合ハ自ラ之ヲ披閱シ再ヒ封緘ヲ施シ證明相成度此段及通牒候也

◎諸計算書其他鑿沙引美濃紙ヲ用フル件 明治二十六年七月六日 送第一五五八號（會計檢査院書記官）照會

各出納官吏ヨリ本院ヘ證明相成候諸計算書内譯書及明細書等ノ用紙ハ其書式凡例ニ掲クル如ク紙質堅牢ノモノヲ可用等ニ候處往々軟質ノ洋紙ヲ用フルモノ有之右ハ取扱中破損致シ且永久保存ニ難堪ニ付自今諸計算書及内譯書明細書等ノ用紙ハ可成鑿沙引美濃紙ヲ相用候樣致度右當該官吏ヘ御通知有之度此段及御照會候也

追テ本文諸計算書等合冊編纂ノ都合有之ニ付綴代ノ餘地凡ソ壹寸貳分存置相成候樣致度此段併テ御申添有之度候也

◎鐵道用品代前金拂並ニ概算渡證明方ノ件 明治二十九年三月三十一日 鐵道第三六八號局長照會

明治二十六年法律第一號鐵道公債金會計法第二條ニ據リ官設鐵道用品資金會計ヨリ買入ル、鐵道建設用品代ノ前金拂ヲ爲シタルトキ其仕拂及精算證明方ノ儀ニ付客年七月中鐵道第五六一號ヲ以テ

御照會ノ末同年八月六日附送第一〇九八號御回答ニ依リ施行致來候處今般法律第二號ヲ以テ官設鐵道用品資金會計ヨリ買入ル、鐵道用品代ハ前金拂並ニ概算渡ヲ爲スコトヲ得ル旨公布相成候ニ付テハ今後前金拂ハ科目品名數量及代價ノ確定シタルモノニ對シ概算渡ハ科目品名數量ハ之ヲ確定スルモ其代價ハ概算ヲ以テ仕拂ヲ爲スコトニ致候ニ付右御照會ノ證明式ハ自然無用ニ相成候間本年度限ニテ相成度然ルニ概算渡ノ儀ハ旅費ノ概算渡ト異ナリ品目モ多數且其精算モ多少複雑ニ可相成候ニ存候ニ付當初仕拂ノ際ハ別紙第一號式ノ仕譯書ニ當該收入官吏ノ領收證書ヲ以テ支出ノ證據ト爲シ支出計算書中旅費概算渡内譯ノ次ニ別紙第二號式ノ如ク内譯ノ座ヲ設クテ之ヲ掲ク其精算ヲ爲シタルトキハ別紙第三號式ノ精算書ヲ調製シ之ニ從來使用ノ代價明細書ヲ添テ精算ノ證據書ト爲シ若シ概算渡精算ニ際シ概算高不足ナルトキハ別紙第四號式ノ仕譯書ヲ以テ追仕拂ヲ爲シ證明致候事ニ相成度候間何分ノ御回示相成度此段及御照會候也

會計檢査院回答（明治二十九年四月十七日送第四八二號）

客月三十一日附第三六八號ヲ以テ本院長宛官設鐵道用品資金會計ヨリ買入ル、鐵道用品代前金拂概算渡ノ儀ニ付御照會之趣了承右ハ總テ御來意ノ通ニテ差支無之候間此段及御回答候也

第一號式（用紙半紙）

第何號	概算渡仕拂仕譯書
何年度	何々(款)
一金何程	何々(項)
内譯	何々(目)

(又ハ請求書)發行及精算内譯 第二號式

摘要	本月精算高		未精算高		備考
	円	銭	円	銭	
何々費(項)					一 概算渡高ハ旅費ノ概算渡ト同シク仕拂命令(又ハ請求書)發行高ノ内ニ含有スヘシ 二 概算渡及其精算ニ關スル證據書ハ各自ヲ分子別冊ニ之ヲ編纂スヘシ 但少數ナル場合ハ合冊ト爲スコトアルヘシ 三 此内譯ニ記載スル戻入ハ計算書末ニハ別ニ再録セサルヘシ
何々費(目)	0		0		
何々費(目)	0		0		
目計	0		0		
何々費(項)					
何々費(目)	0		0		
何々費(目)	0		0		
目計	0		0		
項計	0		0		

右之通 年月日	金額	
	品名	
	單位ノ稱	
	數量	
	記事	

計理部長官氏名 圖

又ハ神戸出納事務所見印

神戸出納事務所主務者印

鐵道用品代概算渡仕拂命令

第三號式

未精算高		備考	概算渡高			
數量	代價		前月未精算高	本月渡高	本月戻入高	差引計
	円 銭		円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
		一 同一物品ニ對シ數回ニ概算渡ヲ爲スモ項目ノ同一ナルモノハ前後ヲ合シ一座ヲ以テ精算スヘシ				
		二 精算ノ代價概算渡ノ高ヨリ超過スルトキハ其超過額ハ未精算高欄内ニ朱記シ更ニ第何號仕拂證書ニテ仕拂ノ旨ヲ備考ニ附記スヘシ				
		三 未精算高中定額ニ戻入シタルモノアルトキハ其旨ヲ備考ニ附記スヘシ				